

北海道横断自動車道（め まん べつ女満別空港～あ ば し り網走）

第 1 回 説明資料

令和3年11月25日

国土交通省 北海道開発局

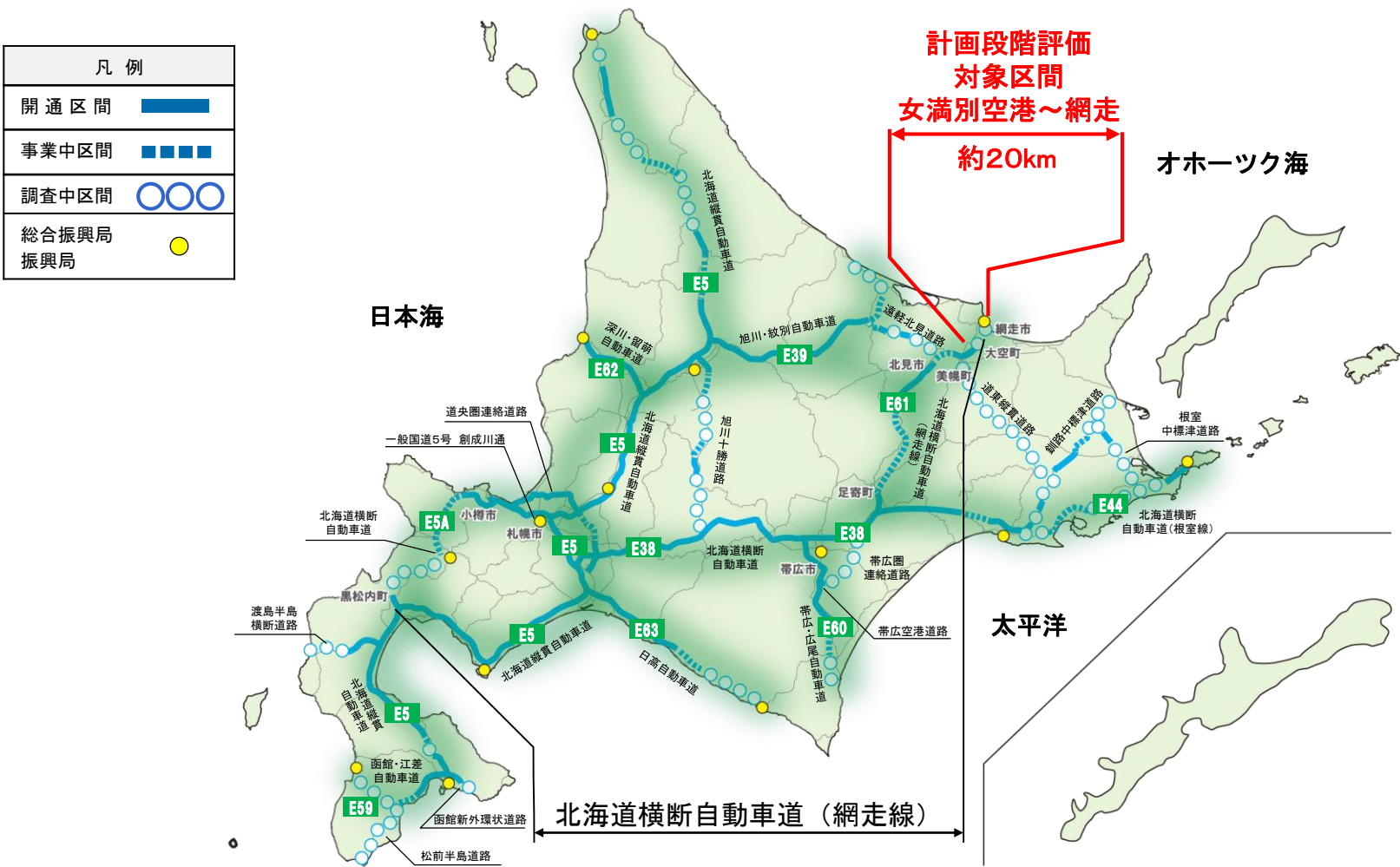
目 次

1. 計画段階評価の検討の流れ
2. 地域の概況
3. 地域の状況と課題
4. 道路の状況と課題
5. 課題の整理
6. 意見聴取方法

1. 計画段階評価の検討の流れ

1-1) 北海道の高規格道路網

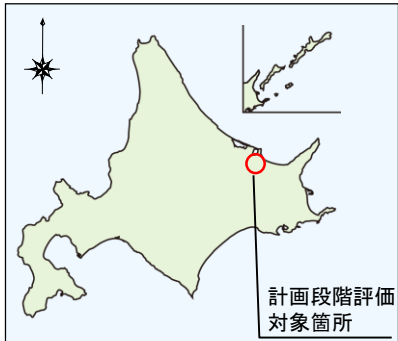
- 北海道横断自動車道(網走線)は、黒松内町を起点として札幌市、帯広市、北見市等を経由し、網走市へ至る道路で、女満別空港～網走間はその端末区間。
- 当該区間は、女満別空港と網走市を結び、開通済みの美幌バイパスに続く延長約20kmの区間。



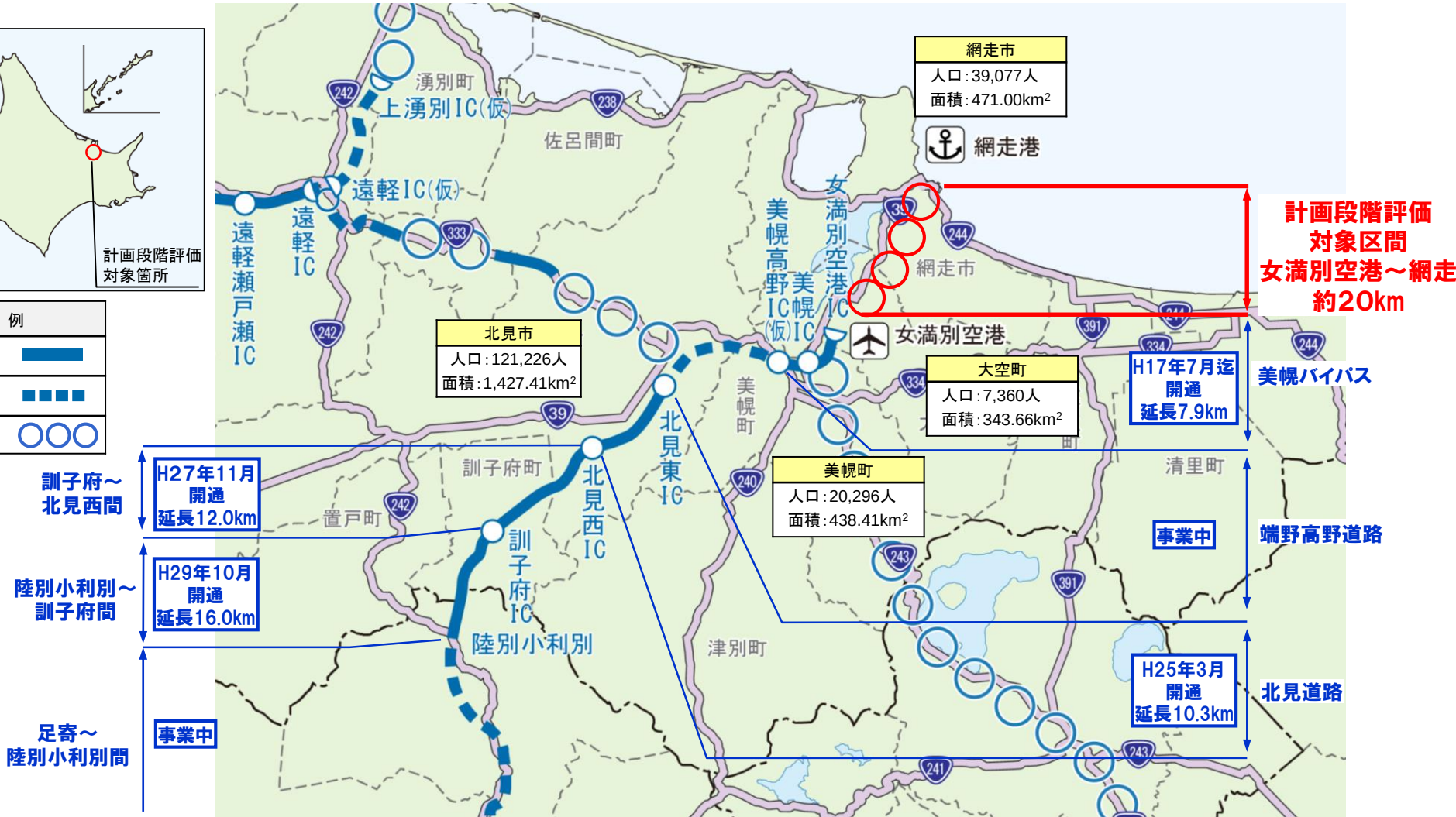
1-2) 北海道横断自動車道(網走線)の進捗

- 北海道横断自動車道(網走線)は、陸別小利別～訓子府間、訓子府～北見西間、北見道路、美幌バイパスが平成29年度までに開通済み。
- 足寄～陸別小利別間及び端野高野道路が事業中。

▼位置図



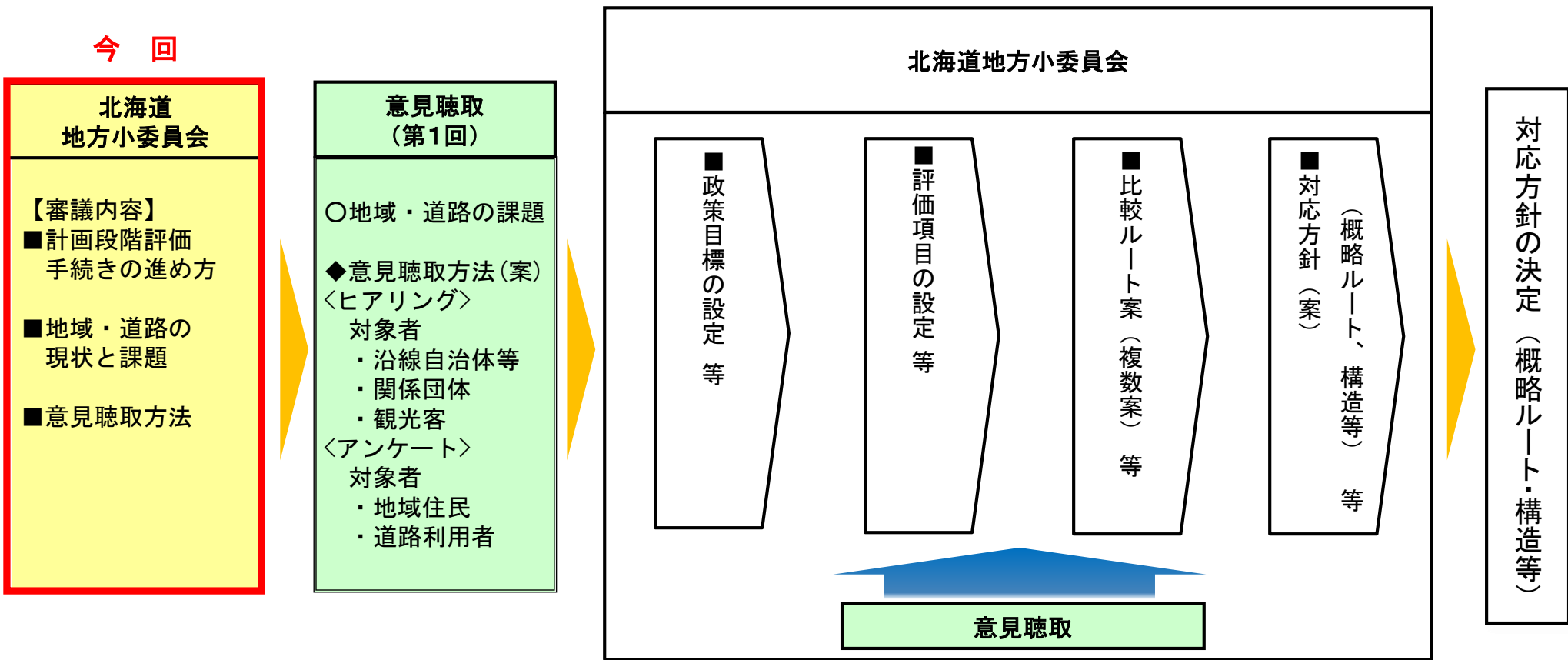
凡 例	
開 通 区 間	
事業中区間	
調査中区間	



資料 人口:平成27年国勢調査(総務省)
面積:令和3年全国都道府県市区町村別面積調(国土地理院)

1-3) 計画段階評価手続きの進め方

○地域住民や道路利用者の意見を聴きながら、道路計画〔概略ルート、構造等〕について検討を行う。



※各段階で随時自治体と調整

北海道地方小委員会

2. 地域の概況

2-1) 地域の概況(土地利用)

○オホーツク圏は、流氷で有名なオホーツク海に面し、世界自然遺産の知床国立公園や網走国定公園などを有する自然豊かな地域。

○沿岸部には平地が多く、海岸から並行して低地、丘陵、山地が続く地形。



注: オホーツク圏は、遠紋地域(紋別市、佐呂間町、遠軽町、湧別町、滝上町、興部町、西興部村、雄武町)、北網地域(北見市、網走市、置戸町、訓子府町、津別町、美幌町、大空町、小清水町、清里町、斜里町)から構成。

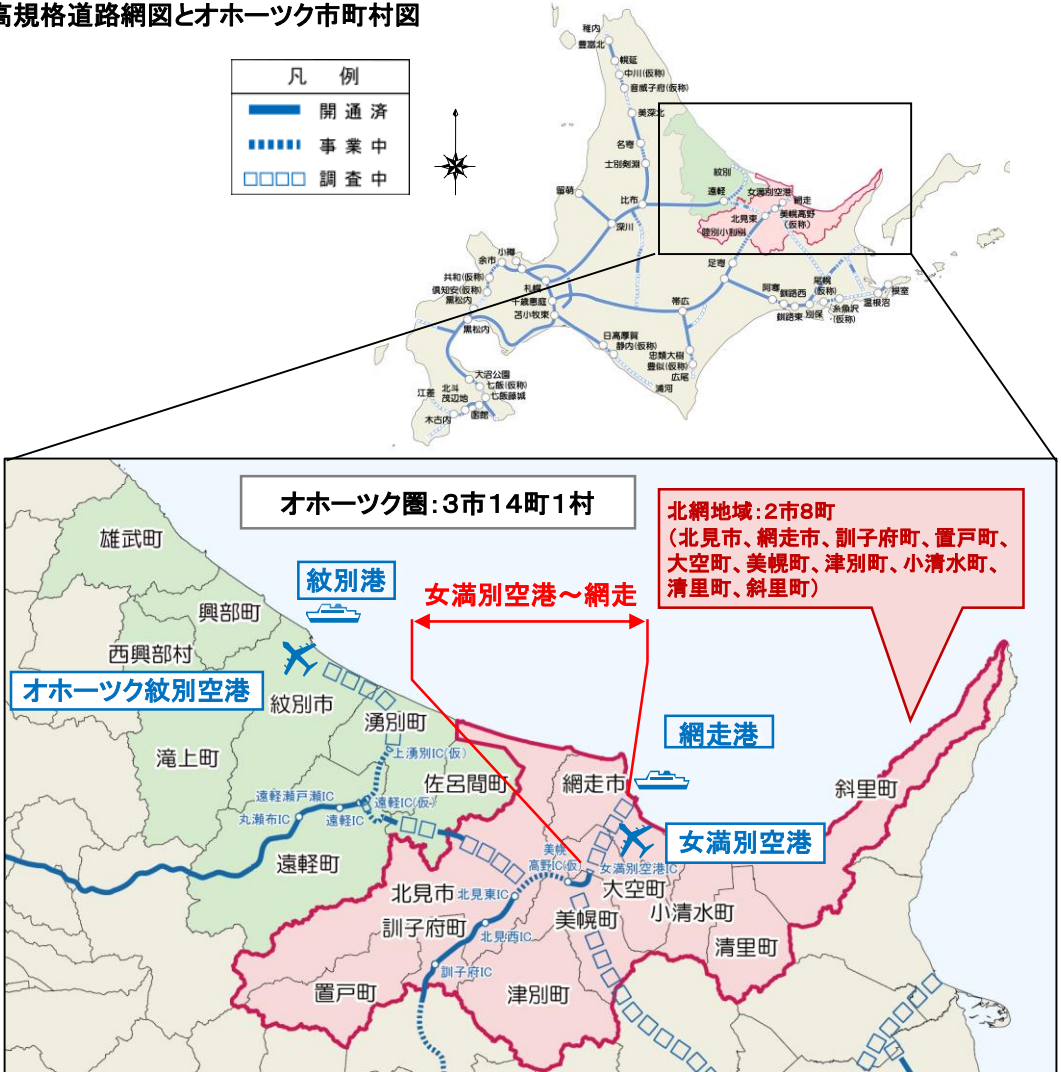
注: 「市街地・集落」は用途地域の指定範囲。「農用地」は湿田・乾田・沼田・蓮田及び田、麦・陸稲・野菜・草地・芝地・りんご、梨・桃・ブドウ・茶・桐・はぜ・こうぞ・しゅろ等を栽培する土地。「山地」は地殻の突起部を示し山脈(特に顕著な脈状をなす山地)、高地(起伏はさほど大きくないが谷の発達が顕著であり表面がおしなべて平坦な山地)、高原(比較的小起伏で谷の発達があり顕著でなく表面まで居住が営まれている山地)、丘陵(小起伏の低山性の山地)等から構成。

資料: 「市街地・集落」「農用地」「山地」は「国土交通省国土政策局の国土数値情報(土地利用細分メッシュデータ平成28年度)」をもとに編集・加工 <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-L03-b.html>

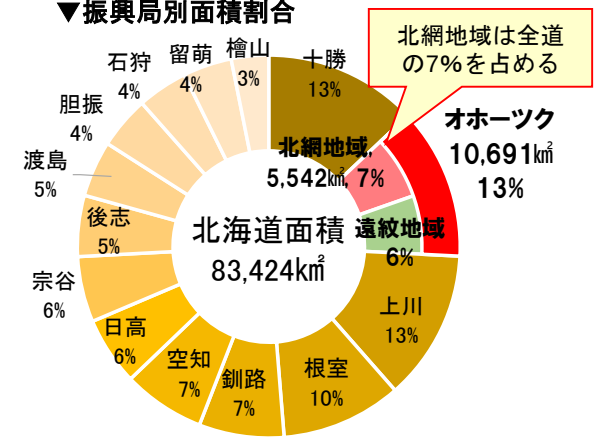
2-2) 地域の概況(面積)

- 北網地域はオホーツク圏の南東部に位置し、2市8町で構成され、重要港湾である網走港、地方管理空港である女満別空港を有する。
- オホーツク圏の総面積は10,691km²で岐阜県と同程度であり、そのうち北網地域は5,542km²で、全道の7%を占め、愛媛県と同程度の面積である。

▼高規格道路網図とオホーツク市町村図

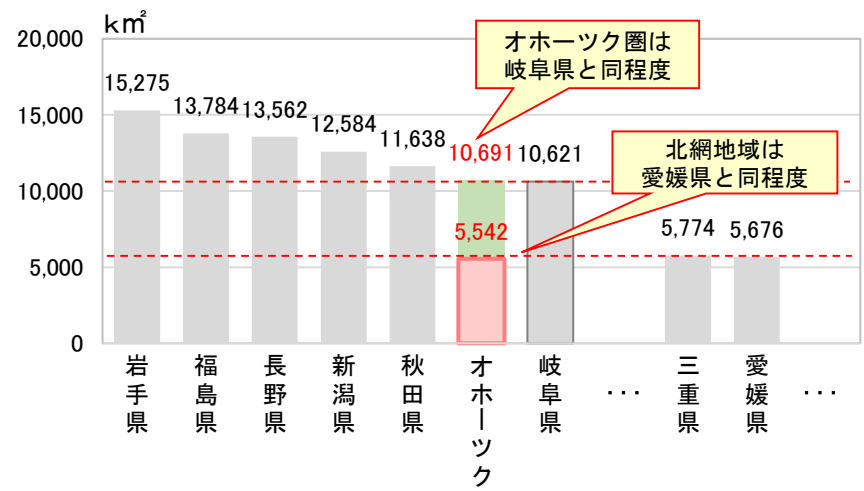


▼振興局別面積割合



資料: 令和3年全国都道府県市区町村別面積調 (国土地理院)

▼オホーツク圏・北網地域と他県の面積との比較

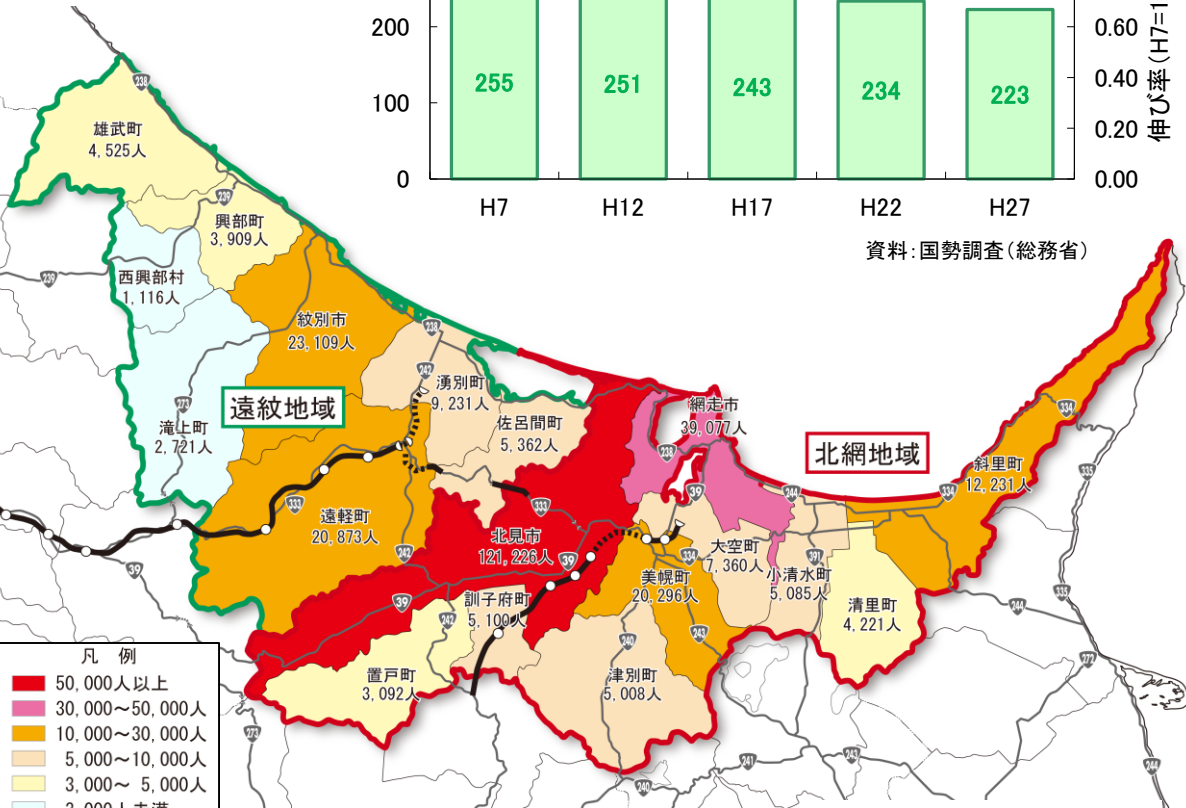


資料: 令和3年全国都道府県市区町村別面積調 (国土地理院)

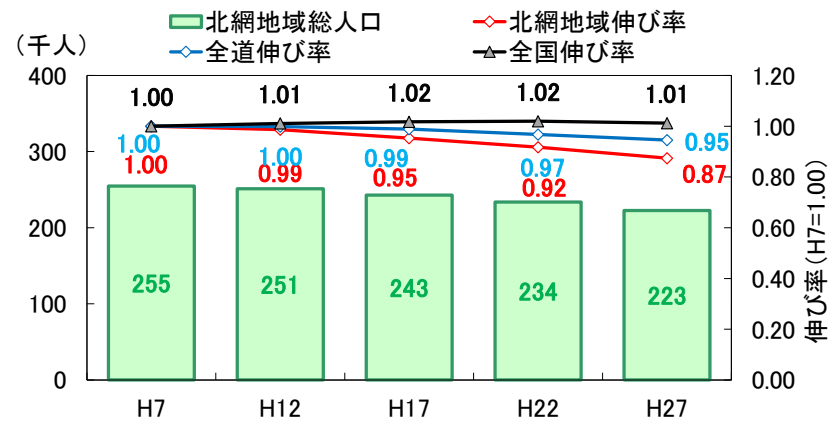
2-3) 地域の概況(人口)

- 北網地域の総人口は約22万人で、北見市(約12万人)と網走市(約4万人)に人口が集中。
- 北網地域の人口は全国・全道より高い率で減少し、高齢者人口は全国・全道より高い割合で増加。
- 全国と比較すると、特に40代以下の若い世代の人口割合が低い状況。

▼オホーツク圏の市町村人口

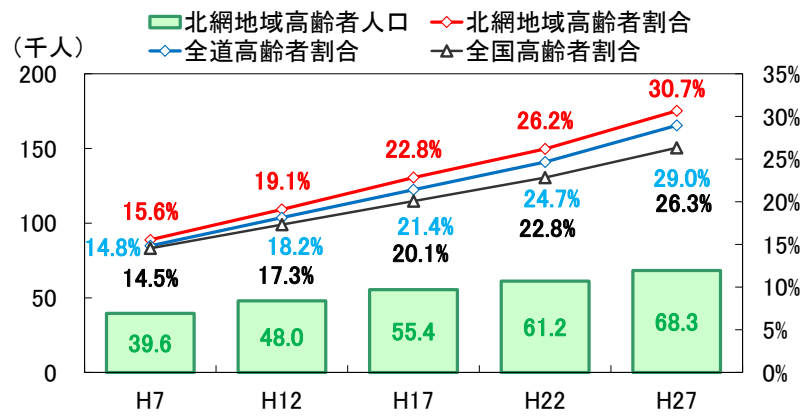


▼総人口の推移



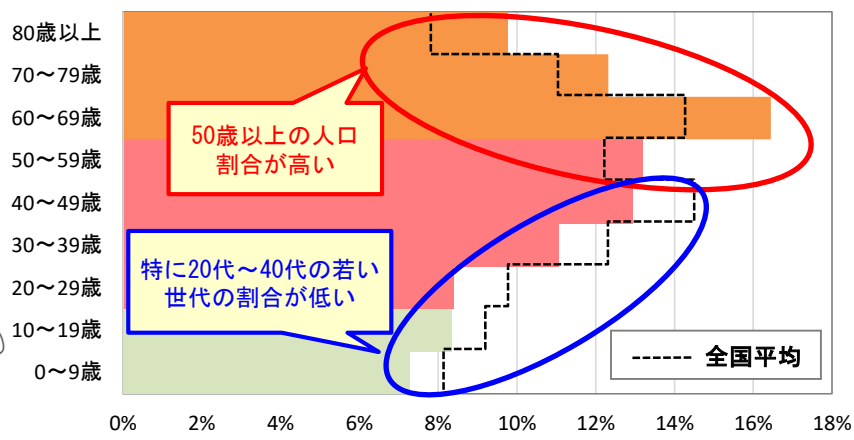
資料: 国勢調査(総務省)

▼高齢者人口の推移



資料: 国勢調査(総務省)

▼北網地域の年齢別人口構成



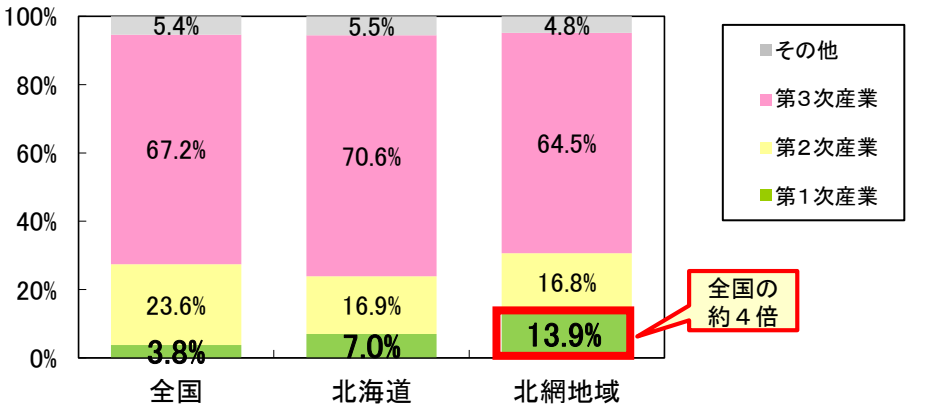
資料: 平成27年国勢調査(総務省)

資料: 平成27年国勢調査(総務省) 9

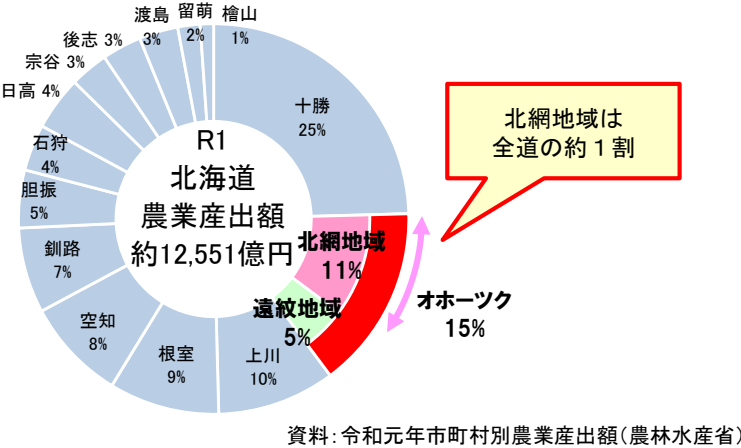
2-4) 地域の概況(産業)

- 北網地域の産業は、全国・北海道全体と比べ、第1次産業の割合が高く、分野別就業人口の特化の度合いでは、北海道平均と比べて農林業、漁業が高い。
- 北網地域の農業産出額、漁業生産額は共に高く、日本の食糧基地である北海道の約1割を占める。

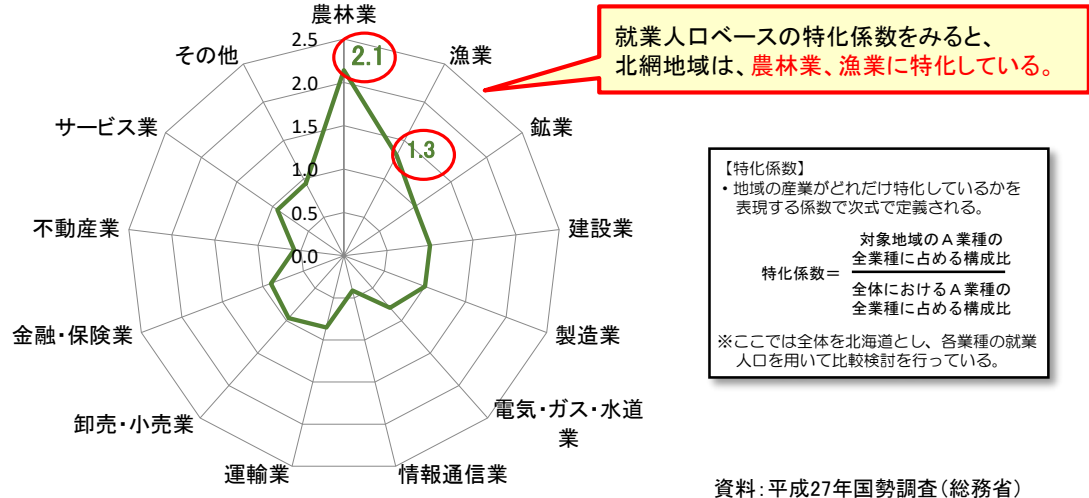
▼北網地域の就業人口割合



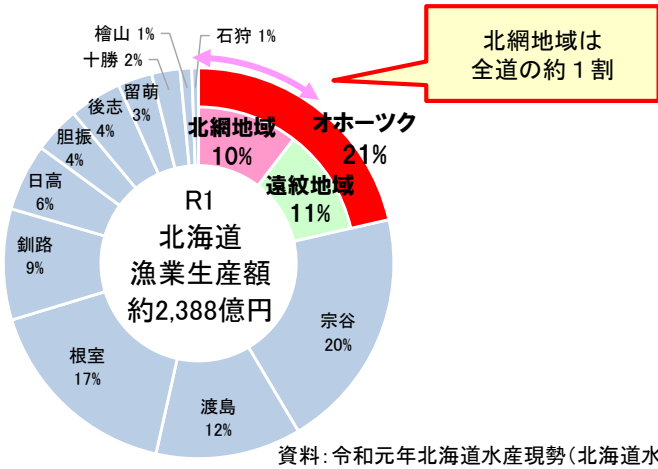
▼北海道の農業産出額割合



▼北網地域の分野別就業人口特化係数



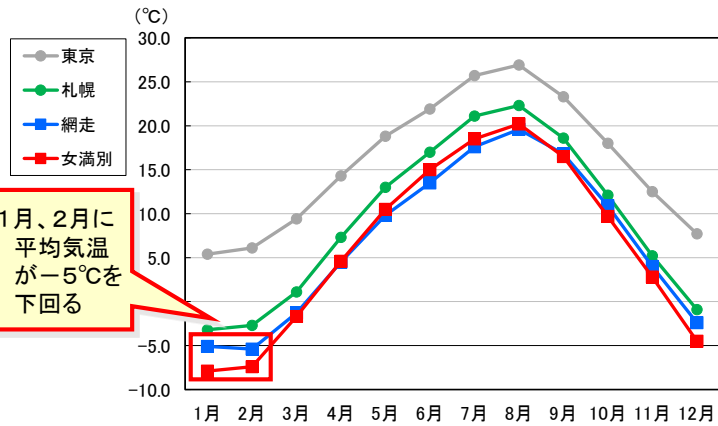
▼北海道の漁業生産額割合



2-5) 地域の概況(気象)

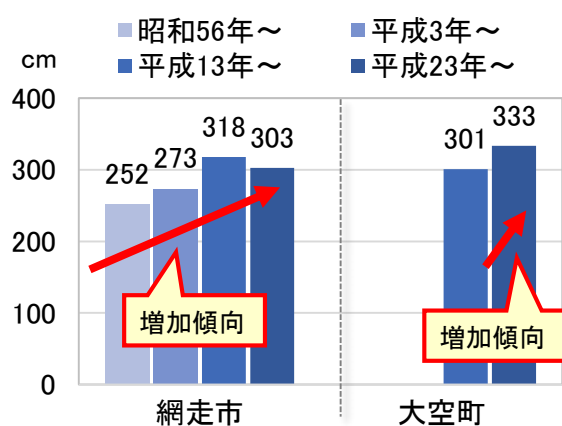
- 当該地域は、冬期平均気温がマイナス5℃を下回る寒冷な地域であり、年間降雪量、年間降水量ともに増加傾向。
- 近年は道東において、暴風雪警報や大雨警報・洪水警報等がオホーツク圏で最も多く発令。

▼月別平均気温都市別比較



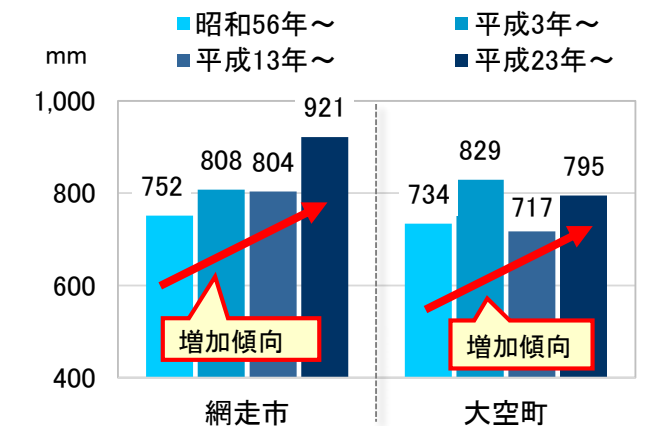
資料：気象統計情報(1991～2020年平年値)(気象庁)

▼年間降雪量の推移(10ヶ年平均比較)



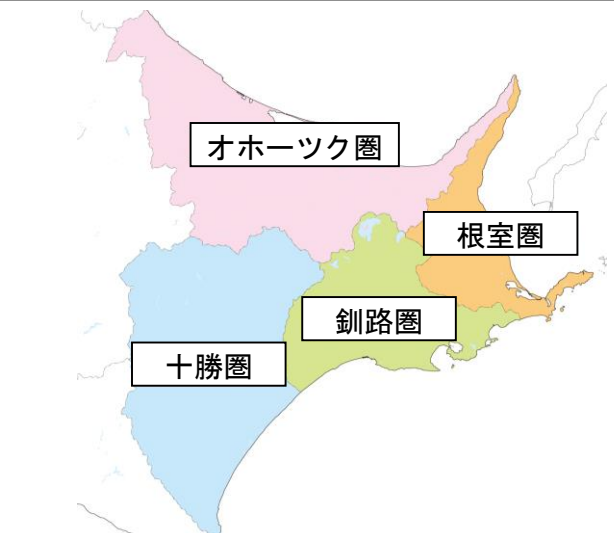
資料：気象統計情報(観測点：網走、女満別)(気象庁)
注：観測点女満別は平成17年以前のデータ無し

▼年間降水量の推移(10ヶ年平均比較)

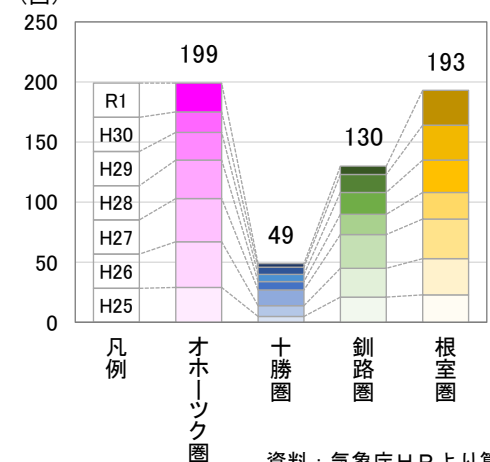


資料：気象統計情報(観測点：網走、東藻琴)(気象庁)
注：観測点女満別のデータは統計を行う対象資料が許容範囲を超えて欠損しているため観測点東藻琴のデータを使用

▼道東における暴風雪警報・風雪注意報・大雨警報・洪水警報の発令回数

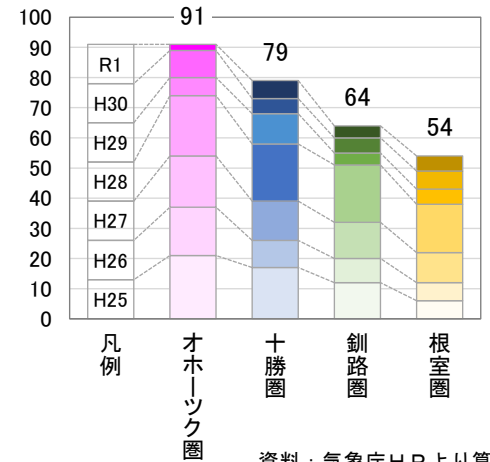


【暴風雪警報・風雪注意報の発生回数】



資料：気象庁HPより算出

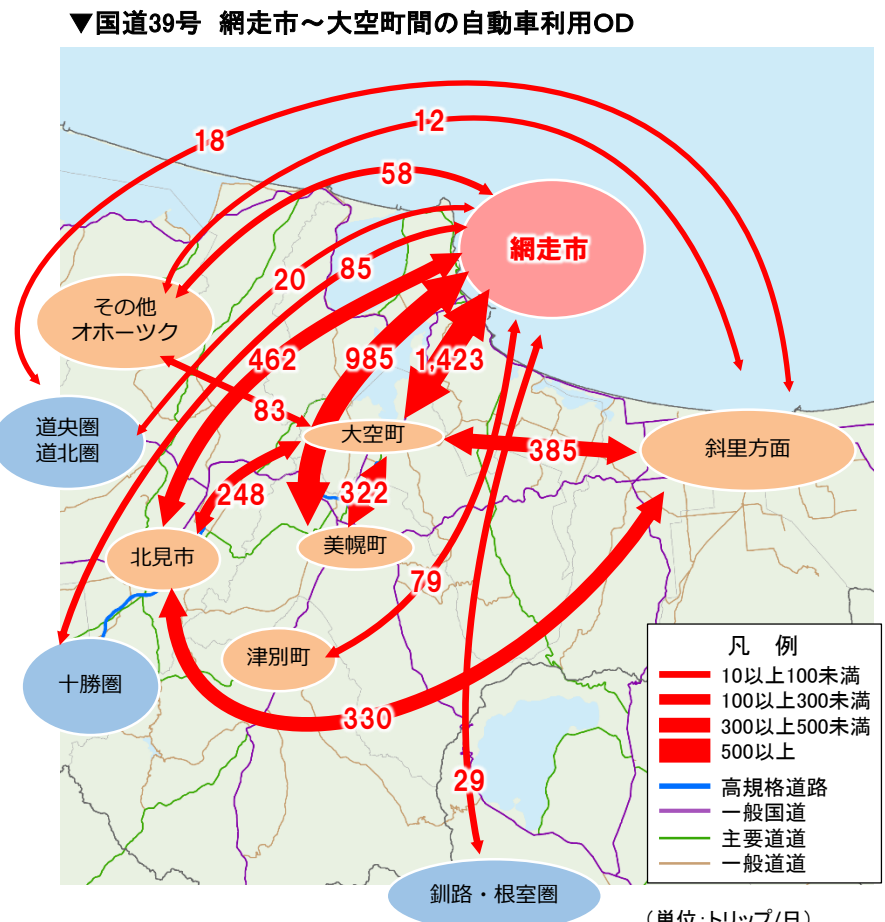
【大雨警報・洪水警報の発生回数】



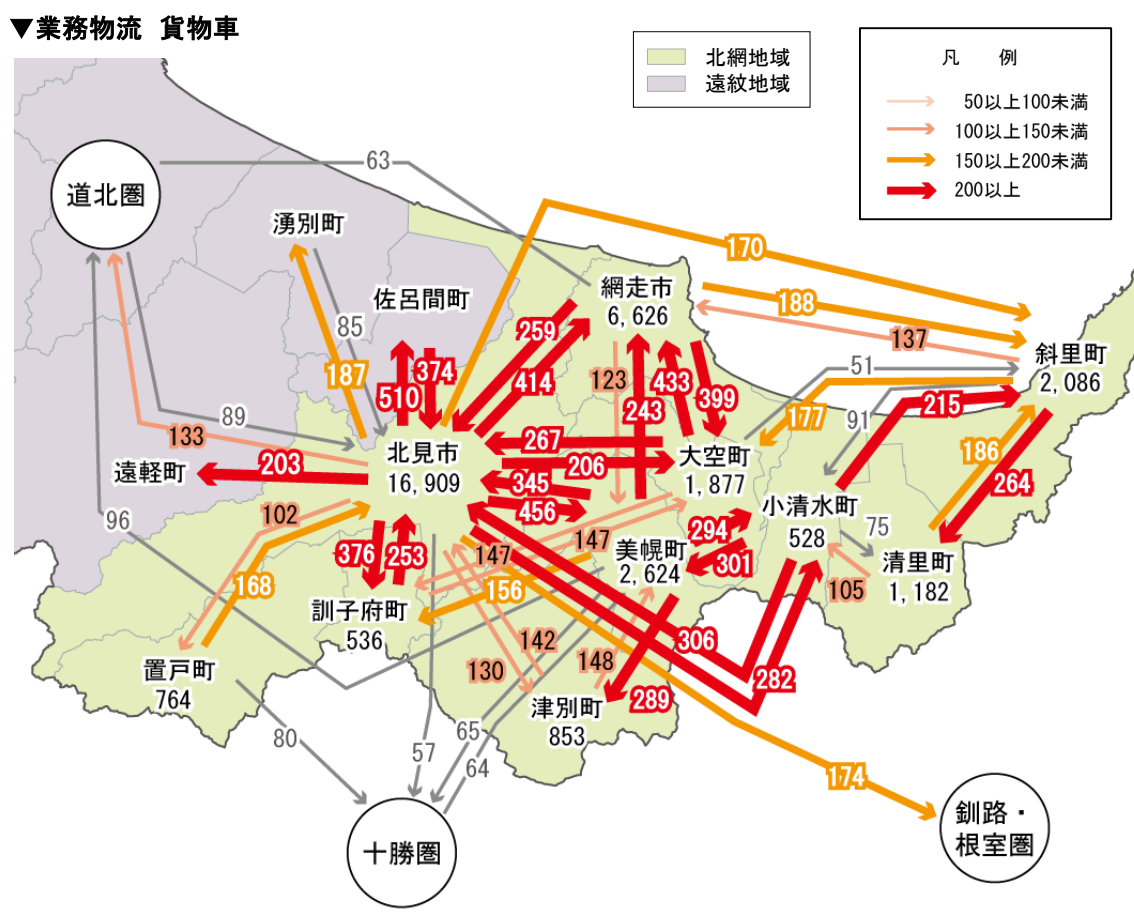
資料：気象庁HPより算出

2-6) 地域の概況(交通流動)

- 当該区間における自動車交通流動をみると、網走市～大空町間、網走市～美幌町間の流動が最も多く、次いで網走市～北見市間、大空町～斜里方面への流動がみられるほか、網走市から他圏域に達する広域流動もみられる。
- 当該地域の業務物流は、北見市、網走市、大空町、美幌町を拠点とした流動が多くみられる。



資料:平成27年度全国道路・街路交通情勢調査(国土交通省)
注:平成27年度全国道路・街路交通情勢調査ODから国道39号と道道小清水女満別線交点付近を通過する各ODを抽出し、日交通量に比率を乗じ算出。
注:斜里方面は、斜里町、清里町、小清水町で構成



資料:平成27年度全国道路・街路交通情勢調査(国土交通省)

2-7) 地域の概況(生活交通流動)

○通勤・通学・買物・通院いずれも、周辺市町村から北見市と網走市への流動が大きい。

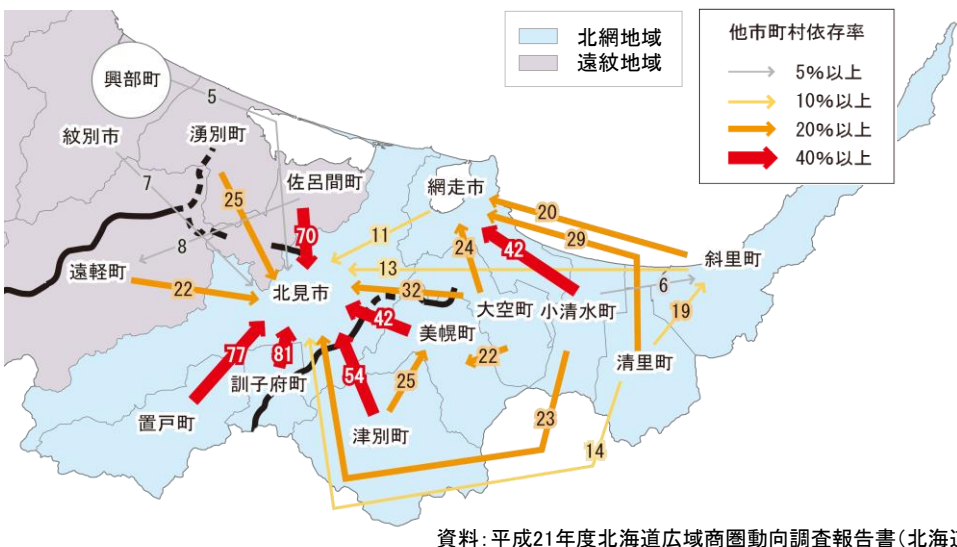
▼オホーツク圏の通勤動向



▼オホーツク圏の通学動向



▼オホーツク圏の買物動向



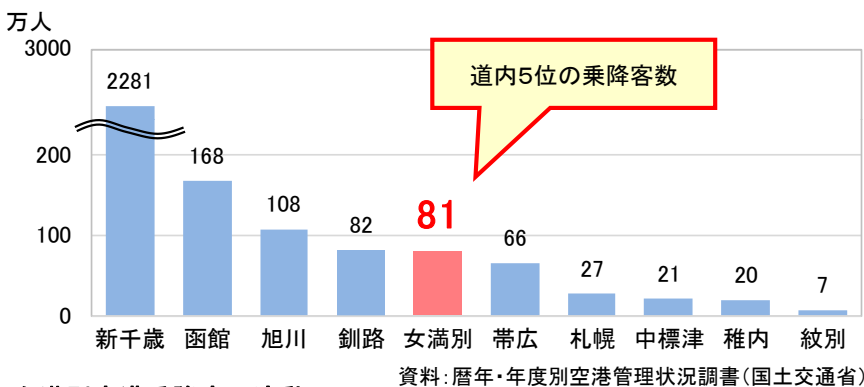
▼オホーツク圏の通院動向



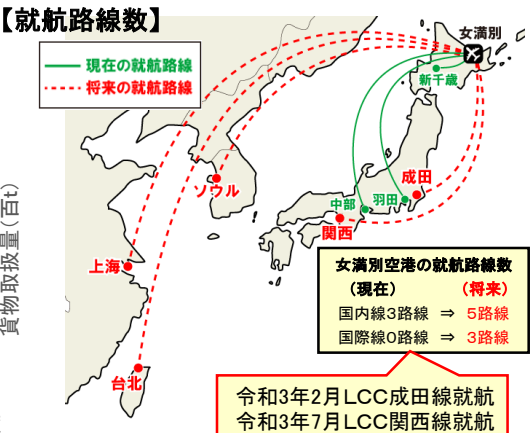
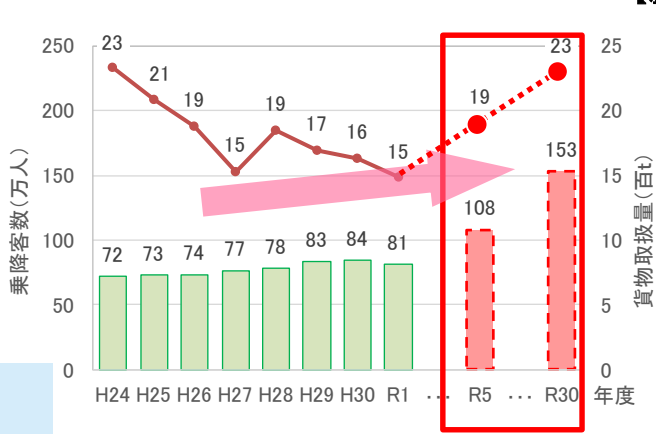
2-8) 地域の概況(女満別空港)

- 国道39号沿線に立地する女満別空港は道内5位の乗降客数を誇り、近年は増加傾向で推移。
- 女満別空港を利用する流動は、北見市、網走市、斜里方面との結びつきが強い傾向。
- 道内7空港民営化に伴い、北海道エアポートグループによる女満別空港の運営事業が令和3年3月より開始され、国内線の新規2路線が就航するなど計画が進められている。

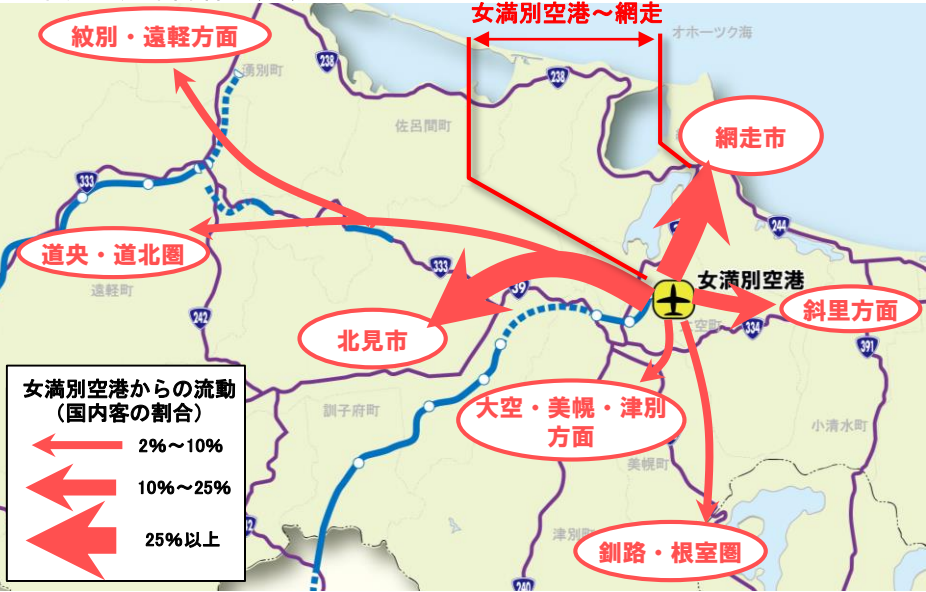
▼道内の空港別乗降客数(R元年度)



▼北海道エアポートグループの提案概要と30年後の目標(女満別空港) 令和元年8月9日報道発表
【乗降客数】



▼女満別空港乗降客の流動



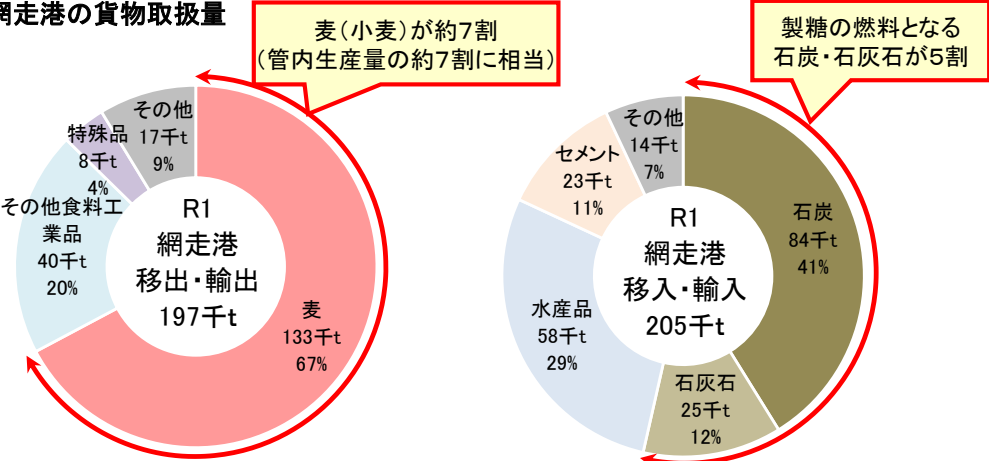
取組	主な内容
設備投資 (約172億円)	- 旅客ビル拡張・リニューアルのための事務所棟の新設 - 温度管理設備を備えた貨物ビル施設の新設による地域産品の移輸出促進 - 個人旅行者向けのリーズナブルな価格のホテル誘致 - 出発到着時受け入れ可能な国際線取扱施設の整備
航空ネットワークの充実	- 国内LCC路線(成田、関西、新千歳等)の誘致による新たな需要創出 - 東アジアからのチャーター便、定期路線の誘致 - LCC等の新規就航を促す割引、インセンティブの導入
ひがし北海道 広域観光の推進	- 発着を別の空港とする道内オープンジョーを利用したひがし北海道広域観光の促進 - ひがし北海道エクスプレスバス等を活用した釧路~女満別間の観光流動の促進
オホーツク観光 の推進	- 自治体、DMO等地域一帯でのオホーツク圏のブランディング - 交通事業者との共同による観光地へのアクセス向上

2-9) 地域の概況(網走港)

○網走港の貨物取扱量は、移出・輸出の約7割を小麦が占め、オホーツク産小麦の約7割が網走港から出荷されるほか、移入・輸入では石炭・石灰石が5割を占め、周辺の製糖工場へ燃料として輸送。

○近年では、流水観光砕氷船の発着場及び道の駅として利用される「みなと観光交流センター」や、小麦出荷能力拡大を目的とした小麦貯蔵サイロが整備されるなど、地域活性化や地域産業の競争力強化に寄与。

▼網走港の貨物取扱量



資料: 令和2年版 網走市統計書(網走市)

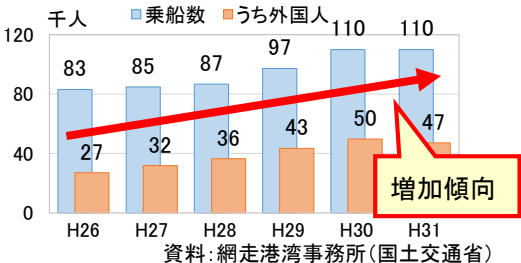


流水観光砕氷船「おーろら」



みなと観光交流センター
(道の駅「流水街道網走」、おーろらターミナル)

▼流水観光砕氷船「おーろら」の乗船客数



小麦集出荷施設(小麦貯蔵サイロ)

▼網走港発着の物流



▼網走港の整備状況 資料: 小麦の輸送量及び石炭・石灰石の流動は令和2年オホーツク農協連ヒアリング結果

年	内容
S53	「重要港湾」指定
H3	流水観光砕氷船「おーろら」就航開始
H21	みなと観光交流センター(道の駅流水街道網走、おーろらターミナル)完成・供用
H22	網走港がみなとオアシスに登録
H26	小麦貯蔵サイロ(24基)完成

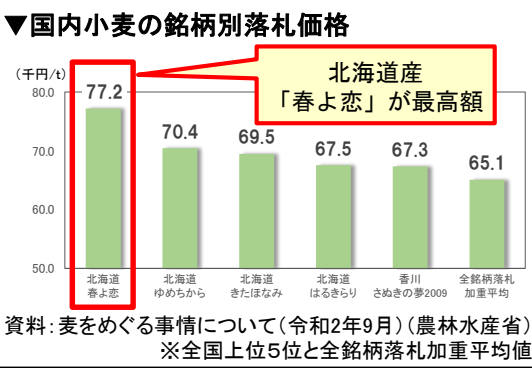
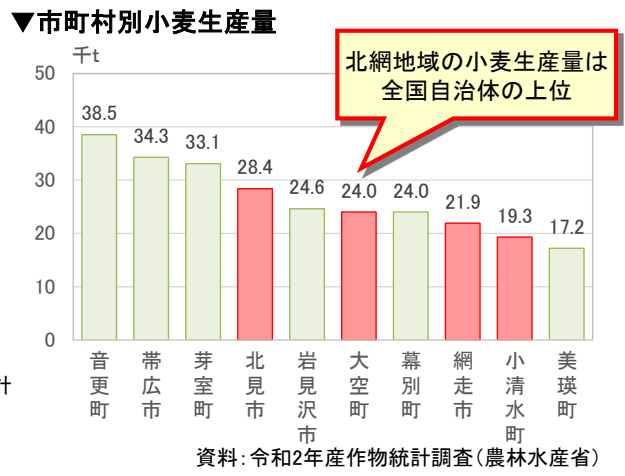
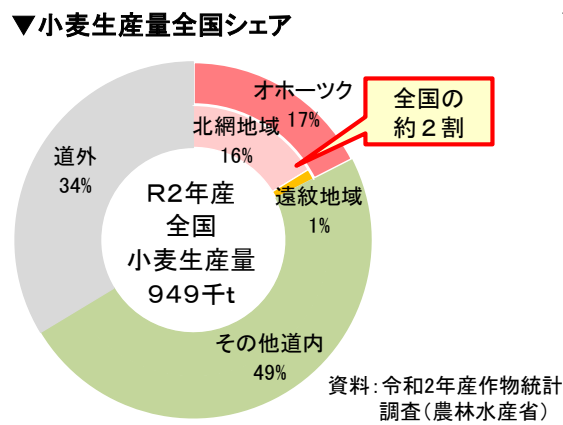
注) 「みなとオアシス」とは、地域住民の交流や観光の振興を通じた地域の活性化に資する「みなと」を核としたまちづくりを促進。主な施設は、みなと観光交流センター「流水街道網走」、歴史資料館、文化交流施設等

3. 地域の状況と課題

3-1) 地域の状況と課題(農水産業①)

○北網地域の小麦は国内生産量の約2割を占め、各自治体が全国上位の生産量を誇り、品質も高く評価され、需要に供給が間に合わない状況。

○北見市や大空町で生産された小麦は、国道39号や美幌バイパスを利用し、網走港の小麦集出荷施設へ集荷されるが、市街地の交差点の連続や郊外部のカーブ区間における輸送時の安全性に課題。



【北網地域の春まき小麦「春よ恋」】

- ・パン作りに適した春まき小麦は、秋まき小麦より育成期間が短く収穫量が少ないため、道内小麦の1割程の生産量
- ・オホーツク圏の春まき小麦収穫量は全道シェア29%を占め、北網地域でほぼ全量(98%)を生産

資料: 令和2年度農林水産統計、農林水産省資料



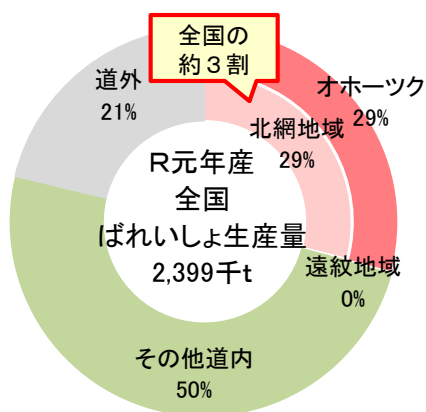
■地域の声<JAオホーツク網走、網走港の小麦集出荷施設>

- ・オホーツク産小麦の品質は高く、世界一良質な麦と言われている。最近では国内産の需要が高く、需要に供給が間に合わない状況。
- ・網走湖畔はカーブが多く、道も狭いため、反対車線にはみ出す危険性があり、20tトレーラーの運転は気を遣う。また、市街地は交差点が連続し、交差道路から車が飛び出してくると、20tトレーラーは急停車できなく、安全性に課題があると感じている。

3-2) 地域の状況と課題(農水産業②)

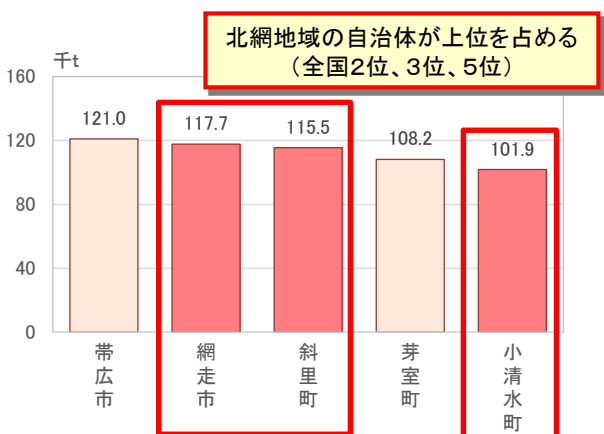
- 北網地域のばれいしょは国内生産量の約3割を占め、網走市、斜里町、小清水町は全国上位の生産地。
- 網走市のわさびだいこんは国内生産量の約8割を占め、呼人工業団地で加工され全国各地や海外へ出荷。
- 北網地域で生産されたばれいしょやわさびだいこんは、国道39号や美幌バイパスを利用し、苫小牧港や北見市のJR貨物駅に輸送され、道外へ出荷されるが、市街地の速度低下による速達性の低下が課題。

▼ばれいしょ生産量全国シェア



資料: 令和元年産作物統計調査(農林水産省)

▼ばれいしょ市町村別生産量



資料: 令和元年産作物統計調査(農林水産省)
※全国上位5位

▼ばれいしょ・わさびだいこんの流動状況



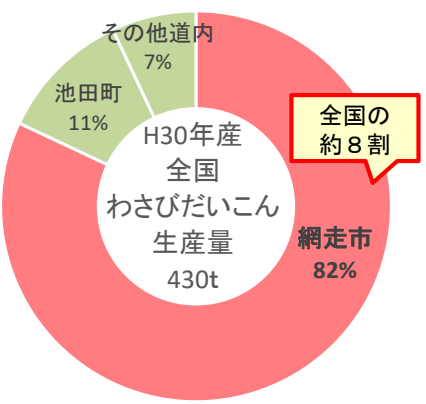
■地域の声<網走市内食品加工会社>

・最近働き方改革の影響で受け入れ時間も厳格になっており、1分でも時間を超過した場合には受け付けてもらえない。国道を利用する場合は、市街地を通過することにより、輸送に余計な時間がかかってしまう。

■地域の声<JAオホーツク網走>

・地理的にハンディキャップがあるため、輸送効率を上げていくには、速達性や定時性の確保が重要であり、少しでも輸送時間が短縮できるルートを選択する。

▼わさびだいこん生産量全国シェア

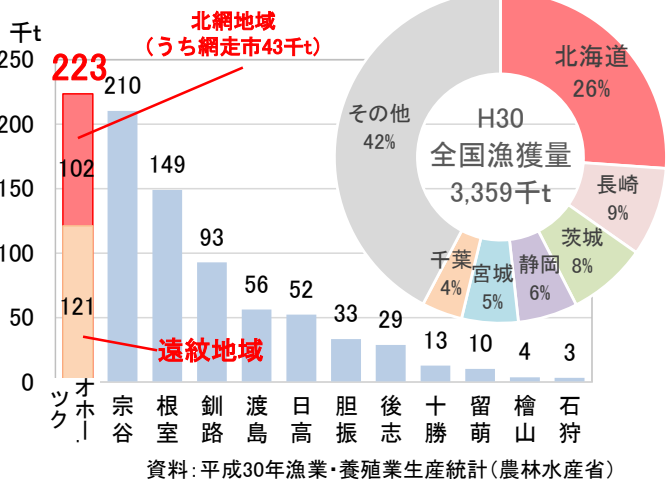


資料: 平成30年産地域特産野菜生産状況調査(農林水産省)

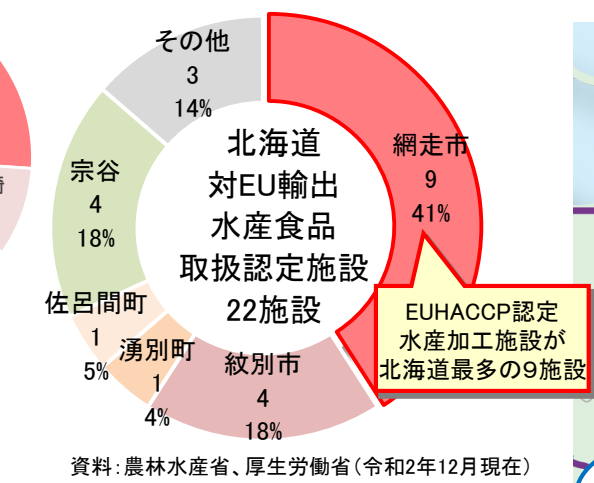
3-3) 地域の状況と課題(農水産業③)

- 北海道は全国の漁獲量の約3割を占め、オホーツク圏は全道でも最大の漁獲量を誇る水産業が盛んな地域。
- 特に漁業が盛んな網走市は、衛生管理の厳格な基準を満たす「EUHACCP認定」工場が北海道最多の9施設立地し、安全で高品質な水産物を道内外や海外へ出荷しているが、市街地の速度低下や信号交差点による停止・発進の繰り返しによる水産物の品質低下が課題。
- また、生鮮品は出荷時間に合わせた漁獲量の調整を行っており、輸送時間の短縮が課題。

▼全道地域別漁獲量と全国漁獲量



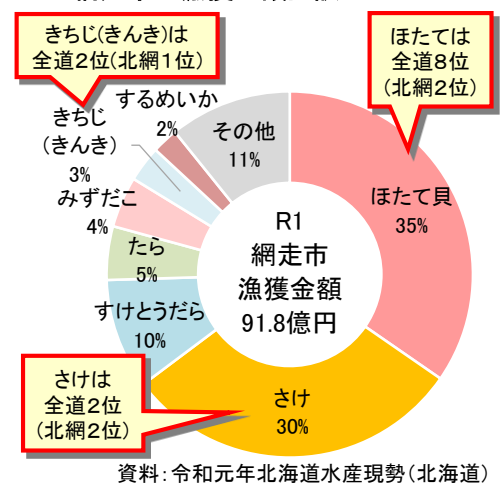
▼EUHACCP認定施設数



▼北網地域の水産品流動状況



▼網走市の漁獲金額内訳



【EUHACCP】

- ・ HACCPは、原料の入荷から出荷までの全工程で管理工程や基準等を定め、製品の安全性を確認・保障して製造できる衛生管理手法
- ・ 海外への輸出はHACCP認定が条件の国も多く、特にEUHACCPは基準が非常に細かく、認定取得が難しい

■地域の声<網走漁業協同組合、加工会社>

- ・ 市街地の速度低下や信号交差点部での発進・停止の繰り返しにより、擦れや衝突による魚体・製品への傷みなど、品質に悪影響を及ぼす。
- ・ 出荷時間が決められており、生鮮品は時間に間に合うよう漁獲量を調整している。輸送時間を短縮できれば、出荷量の増大が期待できる。

3-4) 地域の状況と課題(医療)

○北網地域では、北見市と網走市のみで受診可能な診療科目も多い。また、周辺町では人口あたりの医師数が少なく、病床数が減少傾向にあるなど、北見市と網走市が医療の中心。

○ただし、緊急手術が必要な急性心筋梗塞等は、網走市で対応できないなど、網走市から北見市への二次救急搬送が増加しているが、救急搬送時における速度低下や振動、カーブ区間での揺れが課題。

▼北網地域の診療科目

■：北見市で対応可能な診療科目

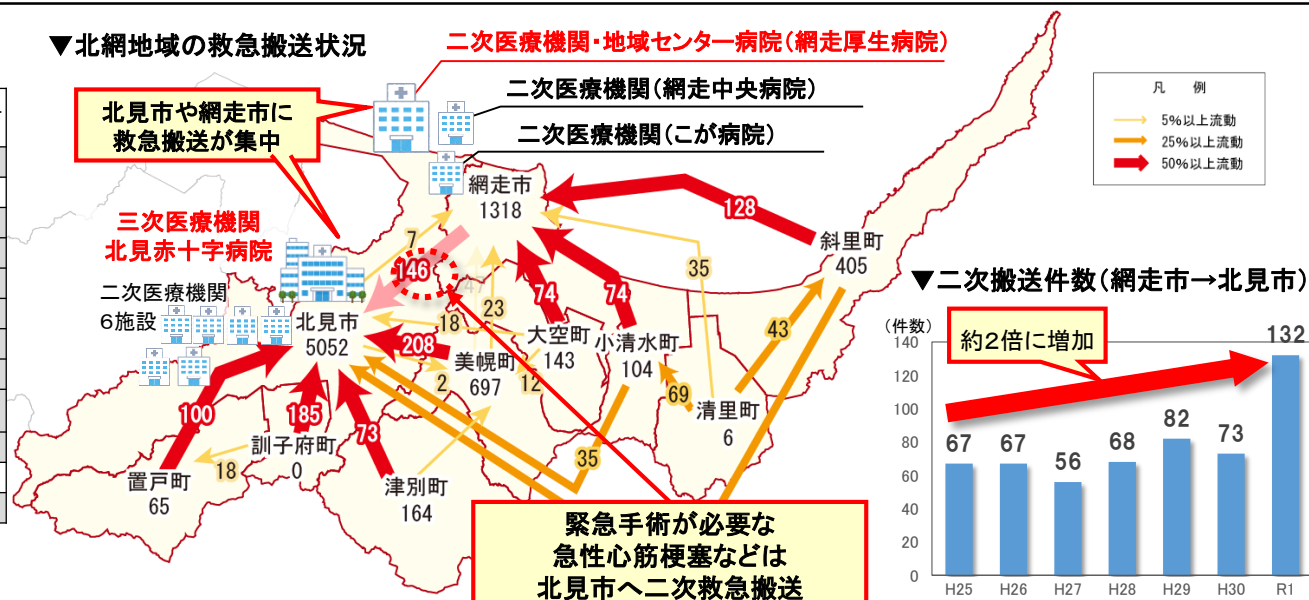
■：網走市で対応可能な診療科目

診療科目	北見市	網走市	美幌町	津別町	大空町	清里町	小清水町	斜里町
胃腸科	2	1	0	0	0	0	0	0
整形外科	12	6	3	1	0	1	1	1
形成外科	1	0	0	0	0	0	0	0
循環器科	15	4	3	0	1	1	1	0
呼吸器科	8	2	1	0	0	1	0	0
呼吸器外科	2	0	0	0	0	0	0	0
消化器科	14	4	1	0	1	0	1	0
消化器外科	1	0	0	0	0	0	0	0
心臓血管外科	1	0	0	0	0	0	0	0
脳神経外科	7	2	0	0	0	1	0	0
産婦人科	2	2	0	0	0	0	0	※1
麻酔科	5	3	0	0	0	0	0	0

資料:北海道医療機能情報システム(令和3年11月時点)

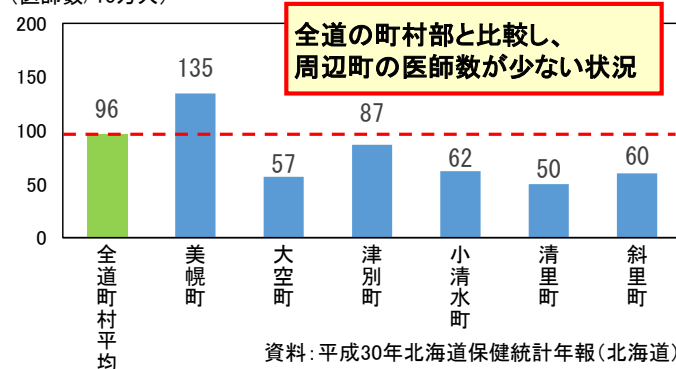
※斜里町の産婦人科は分娩不可

▼北網地域の救急搬送状況



▼北網地域(北見市、網走市除く)の
人口10万人当たり医師数

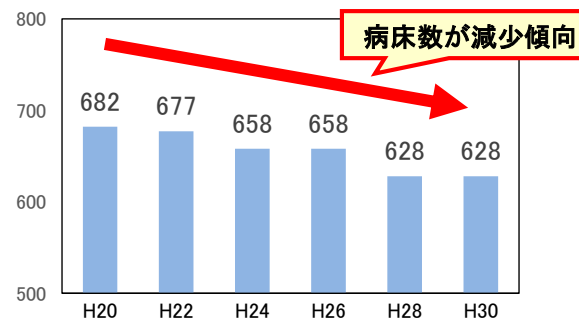
(医師数/10万人)



資料：平成30年北海道保健統計年報（北海道）

▼北網地域(北見市、網走市除く)の 病床数の推移

病床数(床)



資料:病床数は医療施設調査(厚生労働省)、
医師数は医師・歯科医師・薬剤師統計(厚生労働省)

資料：令和元年消防本部ヒアリング

注：矢印上の数字は1次搬送と2次搬送の合計

注：流動割合は自市町内の搬送件数を除いた値

■地域の声＜網走厚生病院＞

- ・心血管の急性疾患にはカテーテル治療しかできず、緊急外科手術が必要な急性心筋梗塞などで北見市に緊急転院搬送している。

・女満別空港～網走間は、市街地での停止発進の振動やカーブ区間の揺れが患者に負担となっている。市街地や冬期の速度低下による搬送の遅れも課題である。道路整備による救急車の揺れ・急ブレーキの減少や搬送時間の短縮は患者負担軽減に繋がる。

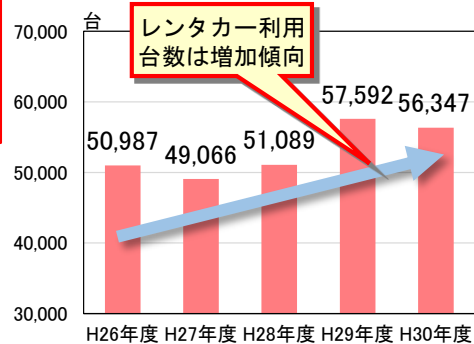
3-5) 地域の状況と課題(観光)

- 女満別空港からのドライブ観光客の主要観光ルートは、女満別空港から網走市を経由し、知床に向かうルート。
- 近年はレンタカーの利用台数が増加傾向であるが、アンケート調査では、移動時間の短縮や道路の走りにくさへの改善ニーズが高い。
- 北網地域では観光地間の移動に時間がかかることや、地吹雪による視程障害といった冬期の走りづらさにより、観光地間を効率的に移動できないことが課題。

▼女満別空港からの主要な観光ルートと観光地

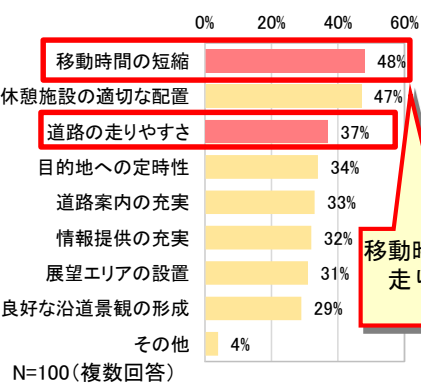


▼レンタカー利用台数の推移

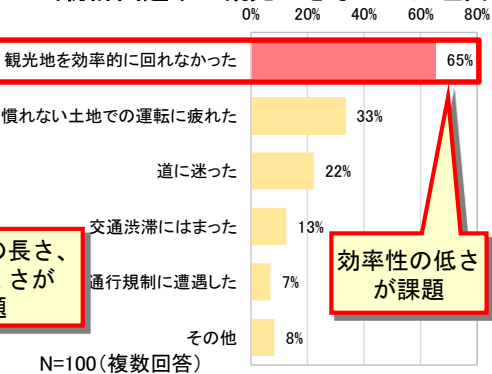


資料: 令和元年度網走開発建設部調べ
※女満別空港の大手レンタカー会社2社の
合計利用台数

▼レンタカー利用者の改善ニーズ



▼当初計画通りに観光できなかった理由



▼自由回答

【レンタカー観光で感じたこと】

- ・観光地から観光地への移動に時間がかかりすぎる。
- ・北海道はスムーズに運転できると思ったが、市街地では停車・発進の連続で走りづらかった。
- ・冬もレンタカーを利用したいが、雪道に慣れていない人間には走りづらい。特に地吹雪時は恐怖を感じるため、地吹雪時でも走りやすい道路があると良い。

■地域の声＜女満別空港レンタカー会社＞

- ・女満別空港から網走市に向かう場合は、現道を使用しているため、高速道路が完成すれば時間短縮効果が大きく、観光やレジャー目的の方にとっても行動範囲や視野が広がることが期待される。
- ・道の駅メルヘンの丘周辺は、風を遮る障害物が無く、ホワイトアウトになりやすい。大型車も多いため、利用者に注意を促す。

資料：平成29年観光客アンケート調査結果（網走開発建設部） ※オホーツク圏をレンタカーで観光した道外客100人を対象

3-6) 地域の状況と課題(災害①)

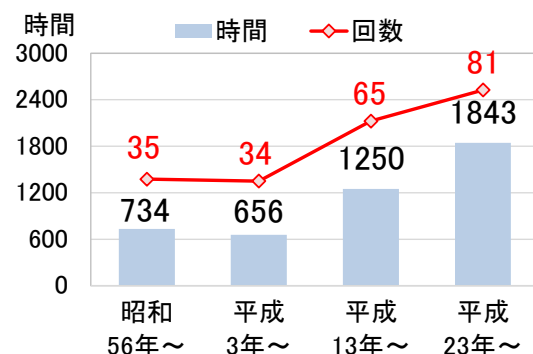
○当該地域では、第1次緊急輸送道路として国道39号が指定されているほか、第1次・第2次緊急輸送道路として道道4路線が指定されている状況であるが、これら緊急輸送道路において吹雪による通行止めが近年増加傾向。

○特に平成25年3月の暴風雪による被害は甚大で、大規模な車両の立ち往生が発生し、陸上自衛隊に災害派遣出動を要請。

▼網走市・大空町の緊急輸送道路と主な拠点施設



▼緊急輸送道路の吹雪による通行止め



資料：網走開発建設部、北海道
※集計路線は国道39号、238号、244号、道道網走川湯線、
網走端野線、女満別空港線、大観山公園線

▼平成25年3月の暴風雪災害の被災状況及び通行止め状況



資料：網走開発建設部、北海道

▼近年の暴風雪災害の状況

資料：網走市地域防災計画、大空町地域防災計画



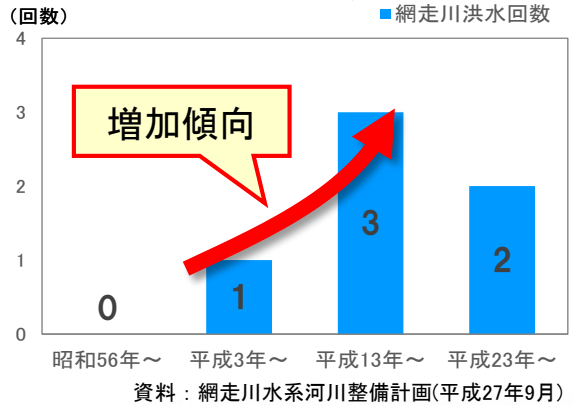
3-7) 地域の状況と課題(災害②)

- 網走川流域では、過去から度々洪水による被害が発生し、近年は洪水回数が増加傾向。
- 洪水災害発生時は、網走川流域周辺で道路や家屋等への被害が発生。
- 網走市街地が浸水予測区域に入っており、市街地に居住する方々の避難活動の支援が必要。

▼網走川流域図



▼網走川流域の洪水回数



▼網走湖畔の観光ホテルの浸水状況 (H18.10)



▼近年の洪水による被災箇所と洪水浸水想定区域



4. 道路の状況と課題

4-1) 国道39号女満別空港～網走間の道路課題

- 渋滞・混雑：市街部交差点で通勤時間帯に渋滞が発生。また、市街部・郊外部ともに冬期悪天候時に速度低下が発生。
- 安全：市街部・郊外部ともに大型車事故割合が高く、地吹雪に起因する事故も発生。
- 走行環境：市街部の信号連続や、女満別市街や網走湖畔のカーブ連続区間により、走行性が低い状況。
- 災害：冬期は地吹雪による通行止めが多発するほか、洪水・津波浸水想定区域が存在。

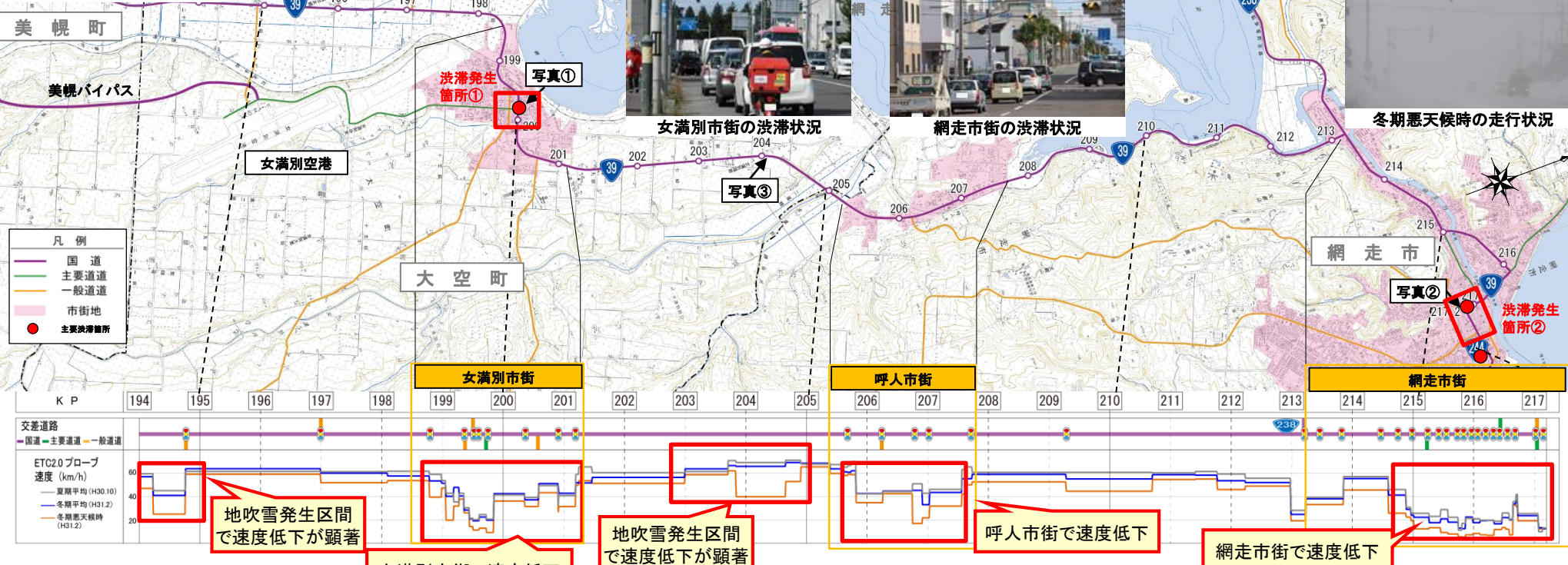


渋滞・混雑	安全	走行環境	災害
写真①  網走市街の渋滞状況	写真③  郊外部での事故発生状況 (H30.11.27)	写真⑤  信号交差点が連続する 網走市内を走行する大型車	写真⑦  立ち往生救出状況 (H25.3)
写真②  冬期悪天候時の走行状況	写真④  地吹雪発生時の事故状況 (H25.3)	写真⑥  カーブ連続区間の救急車走行状況	写真⑧  国道の浸水状況 (H27.10)
市街部で通勤時間帯に渋滞が発生 冬期悪天候時に速度低下が発生	大型車事故の割合が高く、地吹雪に 起因する事故も発生	市街部の信号連続や、郊外部のカー ブ連続により走行性が低下	地吹雪による通行止めが多発し、 洪水・津波浸水想定区域が存在

4-2) 道路の状況と課題(渋滞・混雑)

- 女満別市街、網走市街の信号交差点において、通勤時間帯に渋滞が発生。
- 当該区間全体で冬期の悪天候時に速度低下が発生し、特に地吹雪発生区間での速度低下が顕著。

▼当該区間の走行環境



▼市街地の渋滞発生状況
渋滞発生箇所①：女満別市街



渋滞発生箇所②：網走市街



至 女満別空港 資料：渋滞調査結果による (令和3年10月7日 9時～12時)

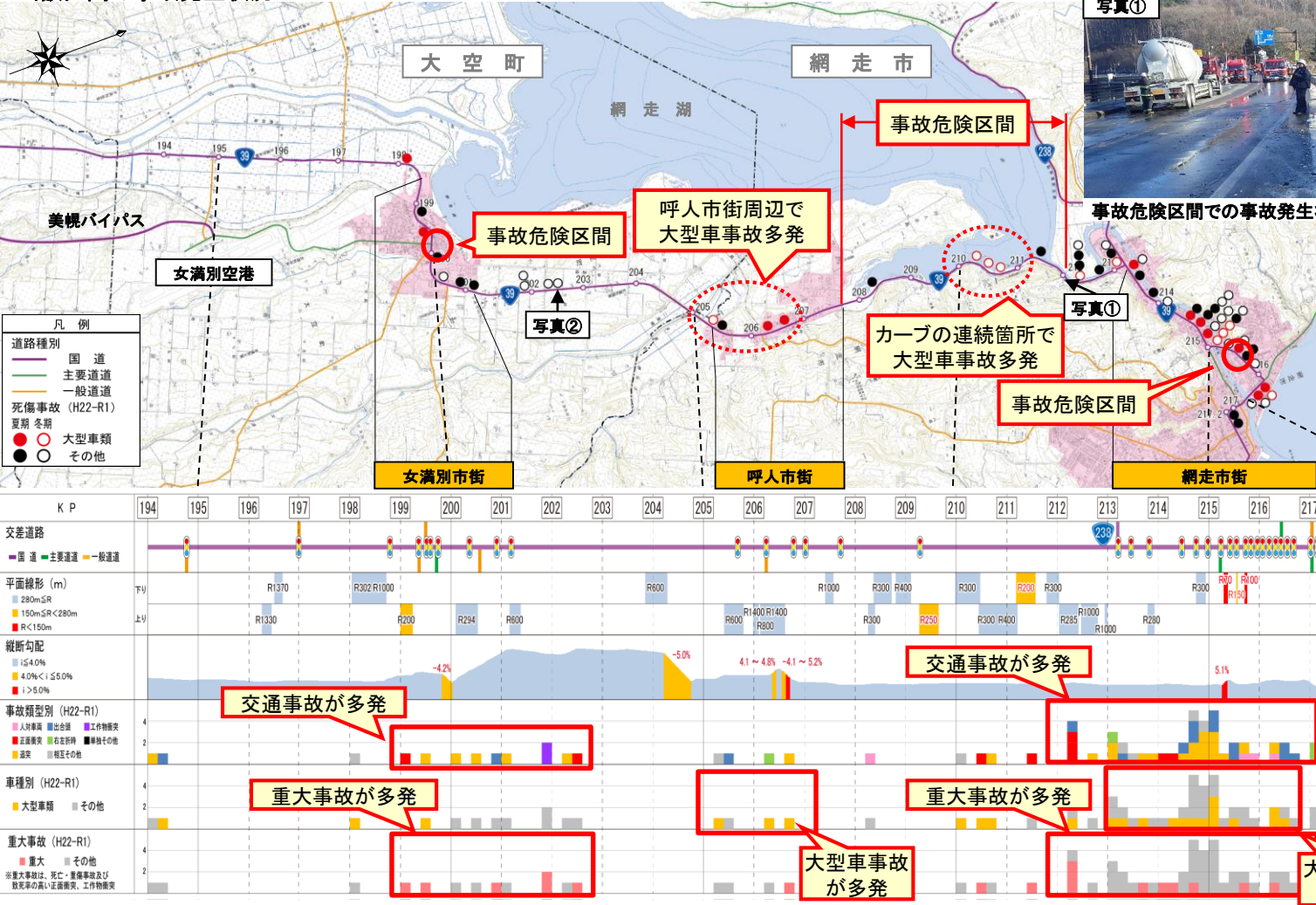
資料：渋滞調査結果による (令和3年10月7日 8時～11時)

4-3) 道路の状況と課題(安全)

○女満別空港～網走間は物流・観光等の基幹ルートのため、市街部・郊外部ともに大型車事故割合が高く、特に女満別市街、網走市街、網走湖畔で事故が多発。

○事故発生要因について、市街部では沿道出入り交通との輻輳による出合頭や右左折時事故、郊外部では正面衝突や車両相互の事故が多く、地吹雪に起因する事故も発生。

▼当該区間の事故発生状況



写真①



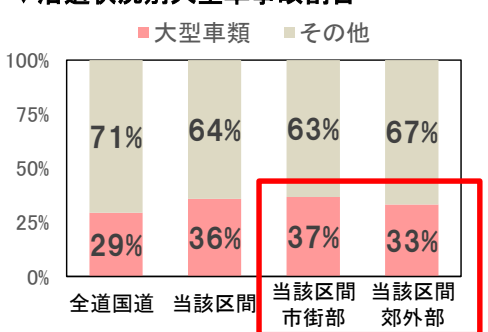
写真②



事故危険区間での事故発生状況 (H30.11.27)

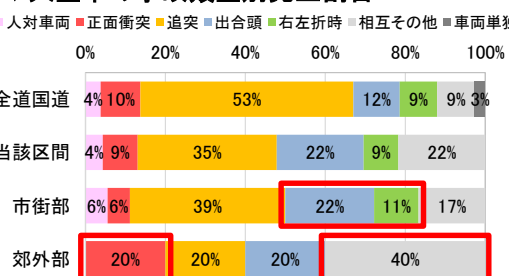
地吹雪発生時の事故状況 (H25.3)

▼沿道状況別大型車事故割合



資料：事故マッチングデータ (H22～R1)

▼大型車の事故類型別発生割合

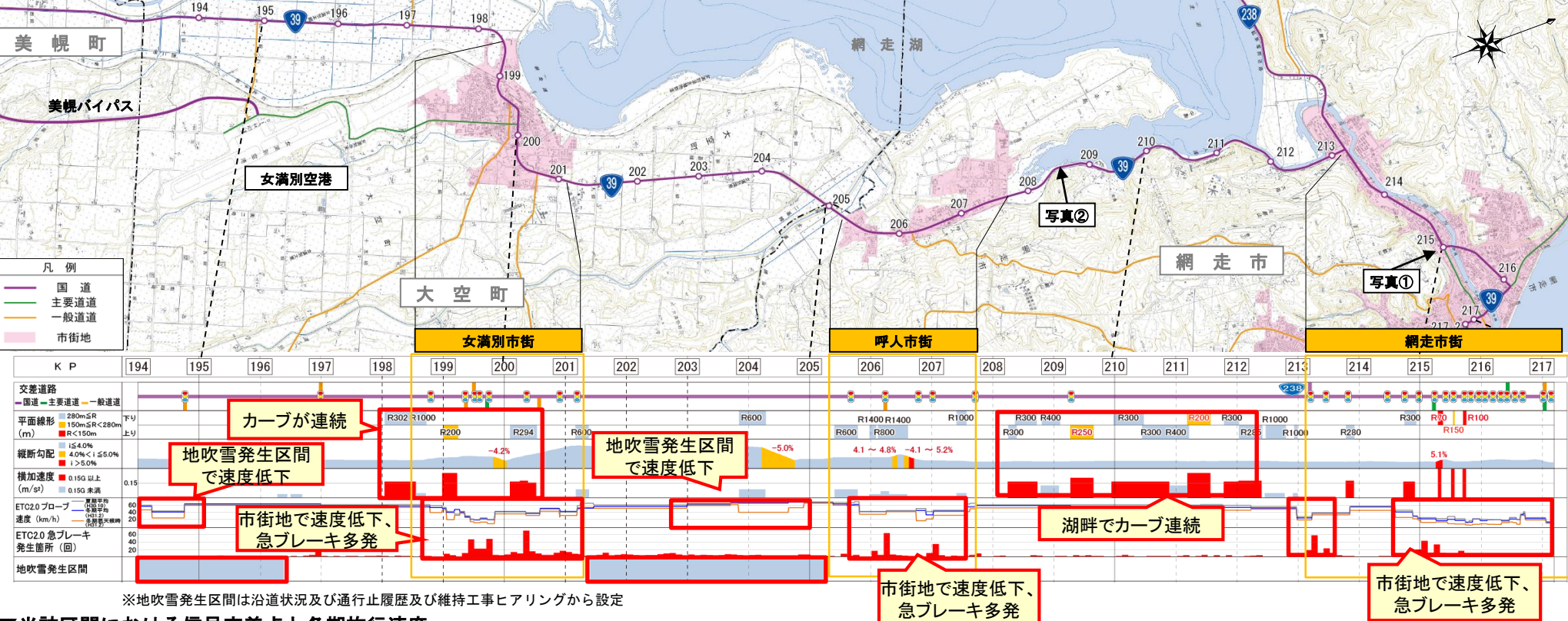


資料：事故マッチングデータ (H22～R1)

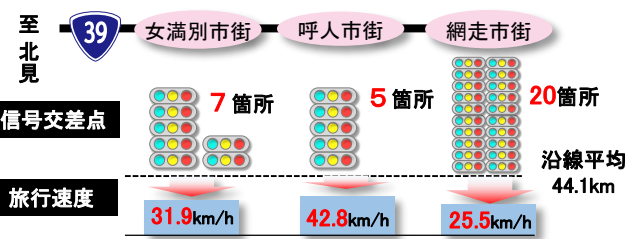
4-4) 道路の状況と課題(走行環境)

- 女満別市街、呼人市街、網走市街において信号による速度低下や急ブレーキが発生。
- 女満別市街や網走湖畔では救急搬送時に血圧変動を生じさせる横加速度の大きいカーブが連続し、搬送に支障。
- 冬期における地吹雪の発生により、物流輸送・救急搬送の確実性が低下。

▼当該区間の走行環境



▼当該区間における信号交差点と冬期旅行速度



信号交差点が連続する
網走市内を走行する大型車



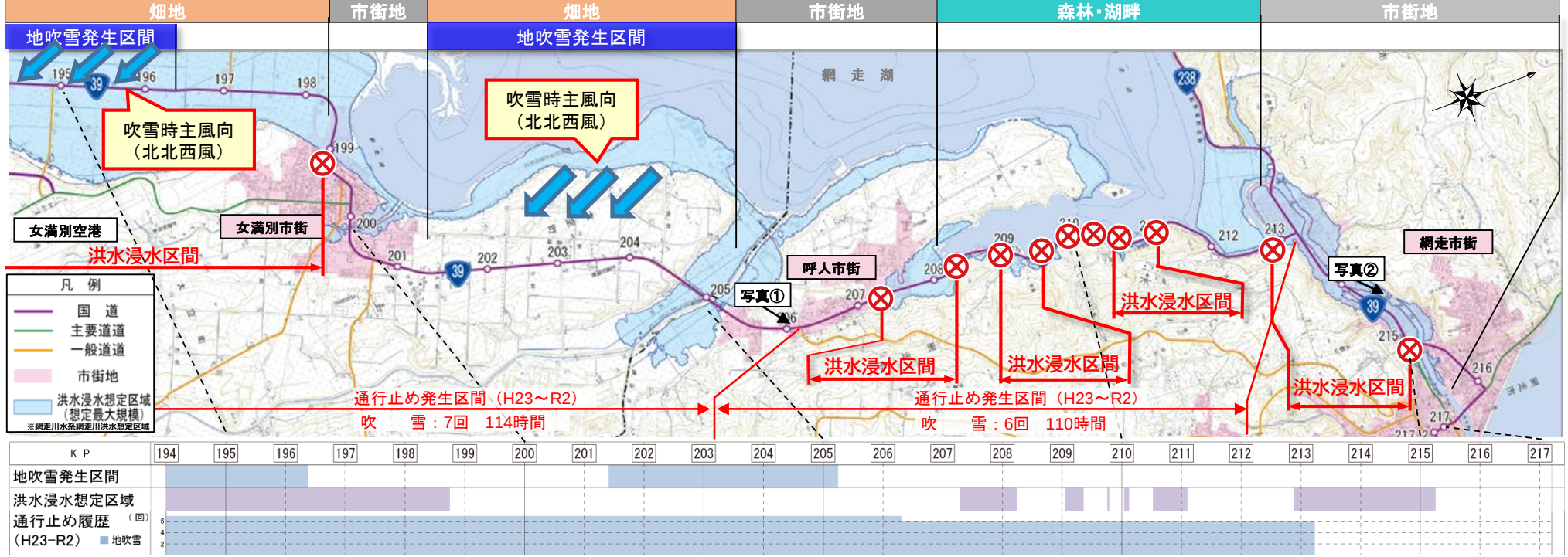
カーブ連続区間の救急車走行状況

■地域の声
<網走厚生病院>
・女満別空港～網走間は冬期の走行速度低下やカーブ区間の揺れ、市街地での停止発進の振動などが課題。

4-5) 道路の状況と課題(災害)

- 当該区間の郊外部は、沿道に畑地が広がり、風を遮るものが無いため、地吹雪や路面凍結が発生しやすく冬期における走行時の安全性や暴風雪時の国道機能の確保に課題。
- 当該区間では洪水浸水想定区域が広範囲に存在するため、洪水災害発生時は国道が通行できなくなることから、災害時における国道機能の確保が課題。

▼国道39号の地吹雪発生区間と洪水浸水想定区間

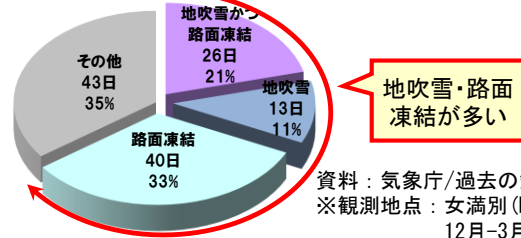


資料：洪水浸水想定区域は網走川水系網走川洪水浸水想定区域図（網走開発建設部）
※洪水浸水区間は国道が浸水域内にあり通行止めの恐れのある箇所を表示、地吹雪発生区間は沿道状況及び通行止履歴及び維持工事ヒアリングから設定



立ち往生救出状況 (H25.3)

▼冬期の道路状況



国道の浸水状況 (H27.10)

■地域の声<美幌津別消防>

・国道39号の網走湖畔を通過する際は、冬期の地吹雪により視界不良となることが多く、危険に感じている。

5. 課題の整理

5-1) 地域の課題と道路の課題(案)

地域の課題(案)	道路の課題(案)	テーマ
○北網地域は小麦やばれいしょなどの農産品やさけなどの水産品で全国トップクラスの生産額を誇る、日本の食を支える生産空間。 ○物流拠点までの輸送時に、市街地の交差点や郊外部のカーブ区間を通過する際の速度低下や、揺れにより、農水産品の品質低下が発生するとともに、安全性に課題。 ○水産品は出荷時間に合わせた漁獲量の調整を行っており、輸送時間の短縮が課題。	○物流拠点までの輸送ルート上に、市街地部では信号交差点の連続による渋滞や速度低下発生箇所、出入り交通との輻輳等による交通事故発生箇所が存在しており、速達性や安全性の高い道路が必要。また、郊外部では連続カーブ等の線形不良箇所が存在しており、揺れの少ない安定性の高い道路が必要。	農水産業支援 (物流)
○北網地域では、北見市と網走市のみで受診可能な診療科目も多く、また、周辺町では人口あたりの医師数は少なく、病床数は減少傾向であるなど、北見市と網走市が医療の中心。 ○網走市から北見市へ向けた二次救急搬送が増加しているが、救急搬送時における速度低下や振動、揺れの発生が課題。	○網走市から北見市の高次医療施設への救急搬送ルート上に、速度低下の大きい市街地や走行性の悪い連続カーブが存在しており、速達性や安定性の高い道路が必要。	暮らし (医療)
○女満別空港からのドライブ観光客の主要観光ルートは、女満別空港から知床に向かうルートであるが、移動時間の短縮や道路の走りにくさに改善ニーズ。 ○観光地間の移動に時間がかかることや、地吹雪による視程障害といった冬期の走りづらさにより、観光地間を効率的に移動できないことが課題。	○女満別空港から知床の観光ルート上に、速度低下の大きい市街地や地吹雪発生区間が存在し、走行環境が悪化しているため、速達性や安全性の高い道路が必要。	観光支援 (人流)
○北網地域では、近年暴風雪により通行止めが増加傾向で、暴風雪時における道路機能の確保に課題。 ○網走川流域では、洪水災害発生時には周辺の道路や家屋等の被害が発生。	○一次緊急輸送道路である国道39号では、郊外部で地吹雪や路面凍結が発生しやすく、冬期における走行時の安定性や暴風雪時の国道機能の確保に課題。 ○網走川流域には洪水浸水想定区域が広範囲に存在し、洪水災害発生時は国道が通行できなくなるため、災害時における国道機能の確保が課題。	災害 (防災・減災)

5-2) 地域の課題と道路の課題(案)

地域の課題(案)

農業・水産業支援（物流）	暮らし（医療）	観光支援（人流）	災害(防災・減災)
○北網地域は小麦やばれいしょなどの農産品やさけなどの水産品で全国トップクラスの生産額を誇る、日本の食を支える生産空間。 ○物流拠点までの輸送時に、市街地の交差点や郊外部のカーブ区間を通過する際の速度低下や、揺れにより、農水産品の品質低下が発生するとともに、安全性に課題。 ○水産品は出荷時間に合わせた漁獲量の調整を行っており、輸送時間の短縮が課題。	○北網地域では、北見市と網走市のみで受診可能な診療科目も多く、また、周辺町では人口あたりの医師数は少なく、病床数は減少傾向であるなど、北見市と網走市が医療の中心。 ○網走市から北見市へ向けた二次救急搬送が増加しているが、救急搬送時における速度低下や振動、揺れの発生が課題。	○女満別空港からのドライブ観光客の主要観光ルートは、女満別空港から知床に向かうルートであるが、移動時間の短縮や道路の走りにくさに改善ニーズ。 ○観光地間の移動に時間がかかることや、地吹雪による視程障害といった冬期の走りづらさにより、観光地間を効率的に移動できないことが課題。	○北網地域では、近年暴風雪により通行止めが増加傾向で、暴風雪時における道路機能の確保に課題。 ○網走川流域では、洪水災害発生時には周辺の道路や家屋等の被害が発生。



5-3) 地域の将来像

地域の将来像

産業・経済

○都市圏内生産地と道内物流拠点をつなぐ高規格道路などによる物流網の強化

〔北見網走都市圏総合都市交通体系調査(H27)〕

○持続的に発展する農業の振興

〔北見市総合計画(2019～2028)〕

○国内外への販路拡大に向けた支援

〔網走市総合計画(2018～2027)〕

医療

○地域医療体制の充実

〔第2期北見市地方創生総合戦略(2020～2024)〕

○救急救命医療の充実

〔網走市総合計画(2018～2027)〕

○消防・救急体制の充実

〔第2次大空町総合計画(2016～2025)〕

○保健、医療、介護、福祉との連携強化

〔美幌町総合計画(2016～2026)〕

観光

○都市圏内観光拠点のアクセス向上に寄与する高速交通ネットワークの整備促進

〔北見網走都市圏総合都市交通体系調査(H27)〕

○ひがし北海道周辺エリアとの連携による周遊観光の促進

〔北見市観光推進プロジェクト(2019～2023)〕

○多様な連携による観光の推進

〔網走市総合計画(2018～2027)〕

○広域連携の事業展開

〔大空町観光推進計画(2017～2026)〕

安全・防災

○防災体制の充実 〔北見市総合計画(2019～2028)〕

○防災体制の充実・強化 〔美幌町総合計画(2016～2026)〕

○高齢者でも安全で事故の少ない道路づくり 〔北見網走都市圏総合都市交通体系調査(H27)〕

○防災・減災に向けた環境整備 〔網走市総合計画(2018～2027)〕

5-4) 地域の将来像(新たな北海道総合開発計画の構成)

第1章 計画策定の意義

第1節 北海道開発の経緯

- 国全体の安定と発展に寄与するため、特別な開発政策の下、北海道開発を推進。
- 食料品等の輸出倍増、外国人観光客数100万人突破等の成長産業の萌芽。他方、経済・人口は縮小傾向。ネットワーク未整備区間、地域コミュニティ維持に係る懸念の存在。

第2節 我が国を取り巻く時代の潮流

- (1) 本格的な人口減少時代の到来
- (2) グローバル化の更なる進展と国際環境の変化
- (3) 大規模災害等の切迫

第3節 新たな北海道総合開発計画の意義

- 北海道開発の基本的意義：北海道の資源・特性を活かして、国の課題の解決に貢献。
- 人口減少・高齢化の急速な進展等により、食や自然環境など北海道の強みを提供し、我が国全体に貢献している「生産空間」の維持が困難となるおそれ。
- 来たるべき10年間は、
 - ・「生産空間のサバイバル」「地域としての生き残り」を賭けた重要な期間。
 - ・また、北海道新幹線開業、高速道路網の道東延伸、2020年オリパラ等を地域の飛躍の契機となし得る期間。
- これらの機会の活用によって、本格的な人口減少時代にあっても活力を失うことなく人々が豊かな暮らしを送ることのできる地域社会の先駆的形成を図る。

第2章 計画の目標

キャッチフレーズ：「世界の北海道」
ビジョン：2050年を見据え、「世界水準の価値創造空間」の形成

《3つの目標》

- (1) 人が輝く地域社会
- (2) 世界に目を向けた産業
- (3) 強靱で持続可能な国土

第3章 計画推進の基本方針

第1節 計画の期間 2016（平成28）～2025（令和7）年度の10年間

第2節 施策の基本的な考え方

- (1) 北海道型地域構造の保持・形成
 - 「生産空間」「市街地」「中心都市」の3層構造で人々の日常生活が営まれる「基礎圏域」を形成。
 - 札幌都市圏：集積を活かして北海道全体を牽引。
- (2) 北海道の価値創造力の強化
 - 人口減少時代にあっては、「人」こそが資源。
 - 人材育成・活用の重点的実施とともに、多様な人々を引きつけ、地域の価値創造力を向上。

第3節 計画の推進方策

- (1) 産学官民金連携による重層的なプラットフォームの形成
 - 人材育成、地域づくり等のテーマに応じて、産学官民金が連携するプラットフォームを各地域又は北海道全体で展開し、取組を持続的にマネジメント。
- (2) イノベーションの先導的・積極的導入～「北海道イニシアティブ」の推進
 - 技術の力で人口減をカバーし、地域の課題を旧弊にとらわれずイノベティブに解決。
- (3) 戦略的な社会資本整備
 - 社会資本のストック効果を最大限に発揮。
 - 戦略的なインフラメンテナンスの徹底、技術開発も活用した「賢く使う」取組の充実強化。
- (4) 計画のマネジメント
 - 「企画立案→実施→評価→改善」のマネジメントサイクル。おおむね5年後に総合的な点検。

第4章 計画の主要施策

第1節 人が輝く地域社会の形成

- (1) 北海道型地域構造の保持・形成に向けた定住・交流環境の維持増進
- (2) 北海道の価値創造力の強化に向けた多様な人材の確保・対流の促進

第2節 世界に目を向けた産業の振興

- (1) 農林水産業・食関連産業の振興
- (2) 世界水準の観光地の形成
- (3) 地域の強みを活かした産業の育成
 - ・高規格幹線道路を始めとする基幹的なネットワークについては、農水産品・食料品の輸送や観光等に求められる広域的な人流・物流を支える交通体系を強化する観点から、生産地や観光地、消費地、空港・港湾等の交通拠点を結ぶ道路ネットワークの整備、ミッシングリンク解消等を推進する。

第3節 強靱で持続可能な国土の形成

- (1) 恵み豊かな自然と共生する持続可能な地域社会の形成
 - ① 環境と経済・社会の持続可能性の確保
 - ② 環境負荷の少ないエネルギー需給構造の実現
- (2) 強靱な国土づくりへの貢献と安全・安心な社会基盤の形成
 - ① 激甚化・多様化する災害への対応
 - ② 我が国全体の国土強靱化への貢献
 - ③ 安全・安心な社会基盤の利活用

5-5) 地域の将来像(北見網走都市圏)

- 北見網走都市圏の都市交通マスタープランにおいて、都市圏形成や都市交通の考え方が整理されている。
- 観光拠点のアクセス向上に寄与する高速交通ネットワークの整備促進や、生産地と物流拠点を結ぶ高規格道路による物流網強化、救急搬送など高齢社会に対応した安全な道路づくり等の方針が示されている。

1. 持続可能な北見網走都市圏形成に向けた視点

- (1) 暮らし
 - ・日常の地域間移動を支えるネットワークの交通環境向上
 - ・将来都市構造や交通状況等を踏まえた道路網計画の検討
- (2) 活力
 - ・都市圏内観光拠点のアクセス向上に寄与する高速交通ネットワークの整備促進
 - ・都市圏内生産地と道内物流拠点を結ぶ高規格道路などによる物流網の強化
- (3) 安全・安心
 - ・高齢者でも安全で事故の少ない道路づくり
 - ・災害時にも強い道路づくり
 - ・1年を通じて安定した道路交通の確保

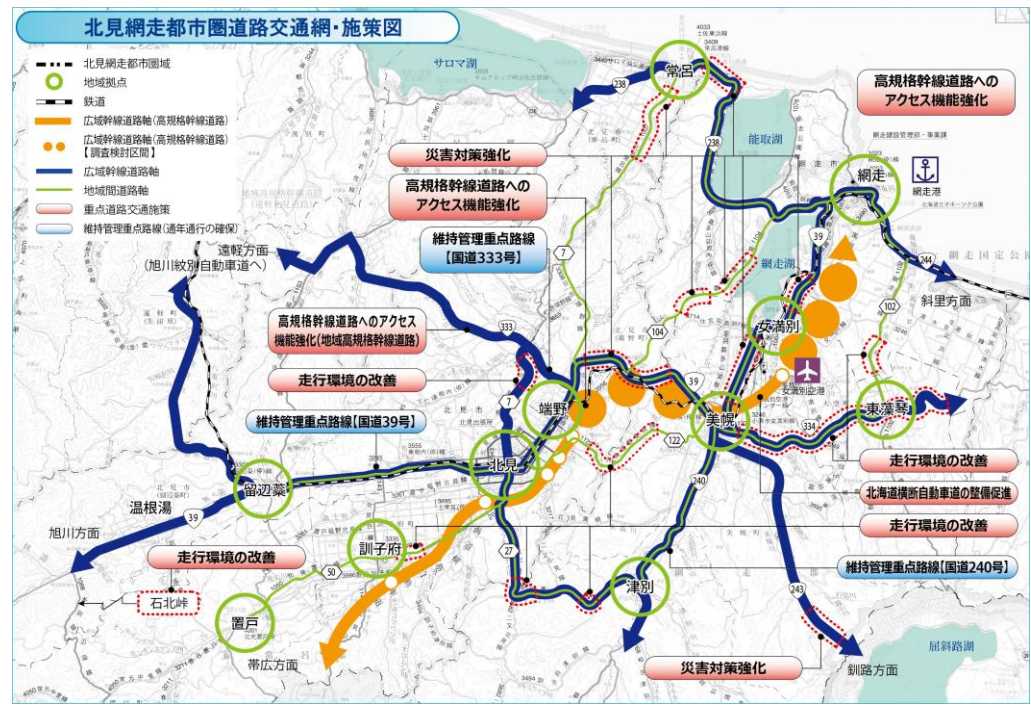
2. 施策の方向性

- ・鉄道輸送網の確保と都市圏の物流拠点と道内物流拠点とを結ぶ高規格道路などによるネットワーク強化を目指す
- ・観光拠点と女満別空港等の交通拠点を結ぶ高規格道路などへのアクセス性向上を目指す
- ・救急搬送や通院など超高齢社会に対応した安全な道路づくりを目指す
- ・都市圏内外、地域間を結ぶ道路ネットワークの通年通行と安全性の確保を目指す

3. 都市交通計画の基本的な考え方

- (1) 交通ネットワークの強化による都市機能の有効活用
- (2) 地域の拠点間を結ぶ地域間連携軸の形成
- (3) 産業拠点や観光拠点を結ぶ広域的な連携軸の強化

4. 北見網走都市圏道路交通網・施策図



5-6) 地域の将来像(北見市、網走市のまちづくり)

○北見市では、地域の拠点としての機能向上や、広域観光の推進等の方針が示されており、網走市では、女満別空港や網走港の活用、農水産資源の高付加価値化、販路拡大、広域周遊観光の促進等の方針が示されている。
○また、両市ともに北海道横断自動車道の整備促進に取り組む方針が示されている。

北見市のまちづくり基本目標

- (1) 健康で安心して暮らせるまちづくり【健康・福祉】
- (2) 豊かな心と文化を育むまちづくり【教育・文化】
- (3) にぎわいと活力あふれるまちづくり【産業・観光】
- (4) 自然と調和する安全な住みよいまちづくり【環境・生活基盤】
- (5) 市民による自主自立のまちづくり【地域・自治】

網走市のまちづくり基本目標

- (1) 一人ひとりを大切にするやさしいまち
- (2) 豊かな自然と共生する安心なまち
- (3) ひとが集いにぎわいと活力を生むまち
- (4) 豊かなひとを育むまち
- (5) ともに歩み、築く協働のまち

施策の概要

- 健康に暮らせる保健・医療の充実
 - ・地域医療体制の充実 ・地域医療の安定化 ・救急医療の確保
- 魅力と活力ある産業振興
 - ・農畜産物の高付加価値化と市場拡大の推進 ・持続的に発展する農業の振興
 - ・地域に根付いた工業の振興 ・活気ある商業活動の促進
- にぎわいと交流の観光振興
 - ・着地型観光の推進 ・広域観光の推進 ・国際観光への対応強化
- 広域観光の推進と拠点都市機能の構築
 - ・各種広域連携の協議会組織を通じた広域観光の推進 ・広域観光拠点都市づくり
- 快適な生活空間の充実
 - ・利便性の高いまちづくりの推進 ・快適で安全な道路網の充実
 - ・高規格幹線道路の整備要望やアクセス道路の整備促進
- 地域の安全安心の確保
 - ・大規模災害時の災害派遣及び受援体制の構築など災害時の広域的な連携

施策の概要

- 地域医療体制の充実
 - ・小児、周産期医療体制の充実 ・救急医療体制の充実、確保
- 円滑な都市活動を支える骨格道路づくり
 - ・北海道横断自動車道網走線の整備要望
- 女満別空港の機能充実、利用促進
 - ・LCC等の新規路線の誘致 ・地域活性化につながる二次交通の充実
- 災害に強い体制づくり
 - ・国、道、民間組織との連携による防災・減災体制の強化
- 農業・漁業
 - ・高付加価値化、ブランド化の推進 ・国内外への販路拡大 ・網走港の活用
- 多様な連携による観光の推進
 - ・誘客や滞在促進につながる広域・拠点周遊観光の促進 ・交通アクセスの円滑化
 - ・広域周遊観光促進に向けた仕組みづくり
 - ・ひがし北海道各地域や広域・地域連携DMOとの連携推進

資料：第2期北見市総合計画書（2019～2028）、第2期北見市地方創生総合戦略（2020～2024）、北見市観光推進プロジェクト（2019～2023）

資料：網走市第6期総合計画（2018～2027）、第2期網走市まち・ひと・しごと創生総合戦略（2018～2027）、網走市観光振興計画2019（2019～2024）

5-7) 地域の将来像(美幌町、大空町のまちづくり)

○美幌町では、観光業の振興やスポーツ合宿の誘致促進等の方針が示されており、大空町では、農業や地場産業の振興、スポーツ合宿の誘致促進等に加え女満別空港を活用した観光産業の振興等の方針が示されている。
○また、両町ともに北海道横断自動車道の整備促進に取り組む方針が示されている。

美幌町のまちづくり基本目標

- (1) 人を創り、地位気力を高めるまちづくり
- (2) 自然の美しさやくらしの安心を、みんなで譲りあうまちづくり
- (3) まちの資源や持ち味を、活力に換えていくまちづくり
- (4) 住みやすく、人が集まる基盤をつくるまちづくり
- (5) 夢を育む体験！あたたかい人をつくるまちづくり

大空町のまちづくり基本目標

- (1) にぎわい ひろがる 産業のまちづくり
- (2) あたたかさ あふれる 福祉のまちづくり
- (3) いきがい はぐくむ 学びのまちづくり
- (4) ゆたかさ うるおう 生活のまちづくり
- (5) ふれあい つながる 協働のまちづくり

施策の概要

- 女満別空港の利便性向上
 - ・空港アクセスの充実
 - ・国際チャーター便の拡大要請
- 広域医療体制の充実
 - ・病診、病病連携強化
 - ・救急医療体制の充実
- 起業や新たな事業化、販路拡大の促進
 - ・販路拡大に係る支援、強化
- 観光の振興
 - ・広域観光に対応する関係団体との連携強化
 - ・観光施設の点から線、面への展開推進
 - ・宿泊施設の誘致
 - ・滞在型観光の推進
 - ・地域資源を活かした観光の推進
- 道路網の整備
 - ・高規格幹線道路、地域高規格道路、一般国道の整備促進
- スポーツの振興
 - ・スポーツ合宿の誘致促進

施策の概要

- 農林業の振興（農業・畜産業・林業）
 - ・競争力の高い農畜産物の生産
 - ・新たな販路の拡大
 - ・農業施設の計画的な整備
- 観光産業の振興
 - ・体験型観光及びグリーンツーリズムの推進
 - ・女満別空港を活用したイベントなどの開催
- 工業・地場産業の振興
 - ・企業誘致の推進
 - ・地場産品を活用した特産品開発、販路拡大
- 生涯スポーツの振興
 - ・スポーツ合宿の積極的な誘致
- 道路ネットワークの整備
 - ・空港につながる北海道横断自動車道や空港線の整備促進
- 公共交通網の充実
 - ・地域間を結ぶ交通手段の確保
 - ・航空路線拡充のための運行支援

6. 意見聴取方法

6-2) 意見聴取方法

■ヒアリングの調査項目と活用方針

ヒアリングの調査項目	ヒアリング結果の活用	備考
自治体や各団体、観光客への意見聴取	・地域や道路の課題に関し、自治体や各団体、観光客への意見聴取を行い、政策目標の設定に反映する。 ・自治体や各団体、観光客との認識の整合性の確認をする。	共通

■アンケートの調査項目と活用方針

アンケートの調査項目	アンケート結果の活用	備考
地域の課題	将来を見据えた改善すべき地域の課題について、回答者の考えを把握する。	第1回
道路の課題(必要な機能)	高規格道路の調査中区間(女満別空港～網走)及び並行する国道39号の現状について、回答者の考える課題(必要な機能)を把握する。	
その他自由意見	その他、道路に関する課題や意見を幅広く聴取する。	
比較ルート帯(複数案)に対する意見	ルート帯、インターチェンジ選定に当り、回答者が重視する視点、配慮すべき事項を把握する。	今後
その他自由意見	その他、各区間に関する意見を幅広く聴取し、計画策定に反映する。	
回答者の属性、利用状況	回答結果の差異に対して各分野で整理し、分析する。	共通

6-3) 第1回アンケート調査(案)

■第1回アンケートにおける調査方法および質問内容

①調査概要

➡ ○本調査の趣旨・調査対象箇所について説明

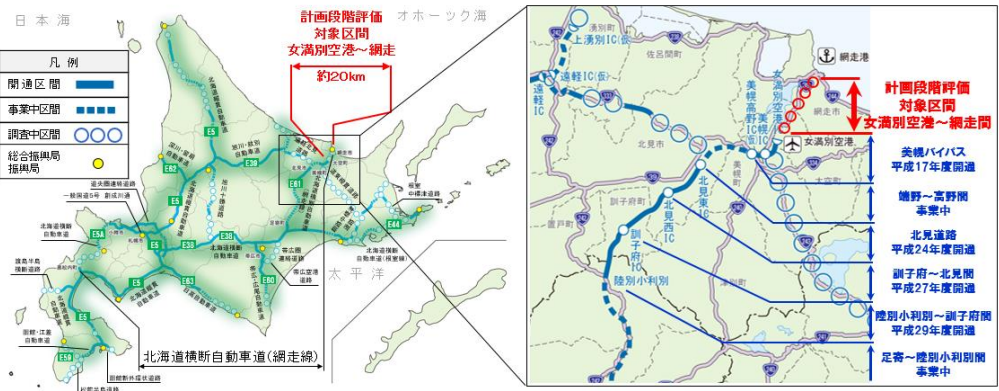
北海道横断自動車道 網走線（女満別空港～網走間）における 道路計画に関する第1回アンケート調査

北海道横断自動車道網走線は、黒松内町を起点として札幌市、帯広市、北見市等を経由し、網走市へ至る道路です。オホーツク圏と道央・十勝・釧根圏の連絡機能の強化を図り、地域間交流の活性化及び、物流の効率化等の支援を主な目的として整備を進めています。

本アンケートは、このうちの女満別空港～網走市間の道路計画にあたり、計画づくりの初期段階から地域の皆様へ情報提供を行うとともに、広くご意見をお聞きし、それを計画に反映していくための取り組みとして実施するものです。

アンケートにご協力いただきますよう、宜しくお願いいたします。

■このアンケートでは、女満別空港～網走間のことについてお伺いします。



②オホーツク地域の概況

➡ ○地域の概況と課題について説明

オホーツク地域の目指す姿と概況

オホーツク圏における国道39号は、物流拠点や高次医療拠点が集積する圏域最大の都市である北見市と、総合振興局や重要港湾網走港を有し、流水観光も盛んな網走市を結ぶ基幹ルートです。

また、沿線には大規模な出荷拠点を有する美幌町、女満別空港を有する大空町があり、農水産物流や観光アクセス、救急搬送など様々な交通が利用するなど、オホーツク圏内の重要路線となっています。

このような、現在の地域や道路の状況から、地域の将来を見据えた改善すべき課題（道路に関して）は、以下のように考えられます。

地域の課題(案)			
農業・水産業支援(物流)	暮らし(医療)	観光支援(人流)	災害(防災・減災)
○北網地域は小麦やばいりょうなどの農産品やさけなどの水産品で全国トップクラスの生産額を誇る、日本の食を支える生産空間。 ○物流拠点までの輸送時に、市街地の交差点や郊外部のカーブ区間を通過する際の速度低下や、揺れにより、農水産品の品質低下が発生するとともに、安全性に課題。 ○水産品は出荷時間に合わせた漁獲量の調整を行っており、輸送時間の短縮が課題。	○北網地域では、北見市と網走市のみで受診可能な診療科目も多く、また、周辺では人口あたりの医師数は少なく、病床数は減少傾向にあるなど、北見市と網走市が医療の中心。 ○網走市から北見市へ向けた二次救急搬送が増加しているが、救急搬送時における速度低下や振動、揺れの発生が課題。	○女満別空港からのドライヴ観光客の主要観光ルートは、女満別空港から知床に向かうルートであるが、移動時間の短縮や道路の走りにくさに改善ニーズ。 ○観光地間の移動に時間がかかることや、地吹雪による視程障害といった冬の走りづらさにより、観光地間を効率的に移動できないことが課題。	○北網地域では、近年暴風雪により通行止めが増加傾向で、暴風雪時における道路機能の確保に課題。 ○網走川流域では、洪水災害発生時には周辺の道路や家屋等の被害が発生。



6-5) 第1回アンケート調査(案)

■質問内容・解答欄

問1 オホーツク圏の将来を見据えた地域の課題についてどう思いますか？

次のA～Dについて、「そう思う」～「そう思わない」の5段階で評価してください。

項 目	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう 思わない
A 農水産物の輸送に時間がかかり、市街地での物流車両との輻輳等により安全に走行ができない	1	2	3	4	5
B 救急搬送に時間がかかり、カーブや信号等により患者への負担が少ない走行ができない	1	2	3	4	5
C 観光地間の移動に時間がかかり、視程障害等で走りにくい	1	2	3	4	5
D 地吹雪発生時や洪水発生時に国道が通行できない	1	2	3	4	5

上記A～D以外で、あなたが課題だと思うことがあれば、ご自由にお書きください。

問2 国道39号女満別空港～網走間にはどのような道路が必要ですか？

次のA～Dについて、「そう思う」～「そう思わない」の5段階で評価してください。

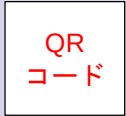
項 目	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう 思わない
A 農水産物の輸送時間を短縮し、安全に走れる道路	1	2	3	4	5
B 救急搬送時間を短縮し、安定走行が可能な道路	1	2	3	4	5
C 観光地間の移動時間を短縮し、スムーズに走れる道路	1	2	3	4	5
D 地吹雪発生時や洪水発生時に機能する道路	1	2	3	4	5

上記A～D以外で、あなたが必要だと思うことがあれば、ご自由にお書きください。

問3 国道39号女満別空港～網走間についてご意見・ご要望がありましたらお書き下さい

6-6) 第1回アンケート調査(案)

- ・回答は同封の郵便はがきにご記入ください。
- ・解凍用の郵便はがきは、切手を貼らずに最寄りの郵便ポストへ投函して下さい。
なお、投かんは令和●年●月●日(●)までをお願いします。
- ・インターネットによる回答も可能になっておりますので、下記アドレスからアクセス願います。
北海道横断自動車道(網走線)女満別空港～網走間 道路計画に関する意見聴取 Web回答用ページ
<http://0000>
※網走開発建設部ホームページからもアクセス可能です。



アンケートの記入例

郵便はがき

料金受取人私

0 9 3 8 5 4 4

北海道網走市 新町2丁目6番1号

網走開発建設部 道路計画課

北海道横断自動車道(女満別空港～網走)

道路計画に関する意見聴取係 行

差出有効期間
令和●年●月●日まで
(切手不要)

見 本

■あなた自身のことについて(記入または該当する番号に○印)

住所 〒 000 - 0000 北海道 網走 市 町・村

性別 ①男性 ②女性 年齢: 40 歳

職業 ①会社員 ②公務員 ③農業 ④漁業 ⑤林業 ⑥観光業
⑦学生 ⑧主婦 ⑨物流・輸送 ⑩商業 ⑪工業 ⑫無職
⑬その他()

■自動車を運転する頻度を教えてください(該当する1つに○)

①毎日 ②週数回 ③月数回 ④ほとんど運転しない ⑤運転しない

■国道39号女満別空港～網走間の利用頻度を教えてください(該当する1つに○)

①毎日 ②週数回 ③月数回 ④ほとんど利用しない ⑤利用したことがない

■女満別空港～網走間の主な利用目的を教えてください(該当する全てに○)

①通勤・通学 ②通院 ③家事・買物 ④仕事(営業・運送等)
⑤観光・レジャー ⑥その他()

北海道横断自動車道(女満別空港～網走)第1回アンケート回答欄

問1 北網地域の将来を見据えた地域の課題について
1-1 以下のA～Dの該当するもの1つに○をつけて下さい。

	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう 思わない
A 物流車両の輸送時間、安全性	①	2	3	4	5
B 救急車両の搬送時間、安定性	1	②	3	4	5
C 観光時の移動時間、安全性	1	2	③	4	5
D 地吹雪発生時や洪水発生時の道路の 通行止め	1	2	3	④	5

1-2 上記以外で課題と思うことがあれば、ご自由にお書き下さい。

.....

問2 国道39号女満別空港～網走間に必要な機能について
2-1 以下のA～Dの該当するもの1つに○をつけて下さい。

	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう 思わない
A 物流車両の輸送時間の短縮、安全性の 確保	①	2	3	4	5
B 救急車両の搬送時間の短縮、安定性の 確保	1	②	3	4	5
C 観光時の移動時間の短縮、安全性の確保	1	2	③	4	5
D 地吹雪発生時や洪水発生時の道路の 耐災害性	1	2	3	④	5

2-2 上記以外で必要だと思うことがあれば、ご自由にお書き下さい。

.....

問3 その他のご意見

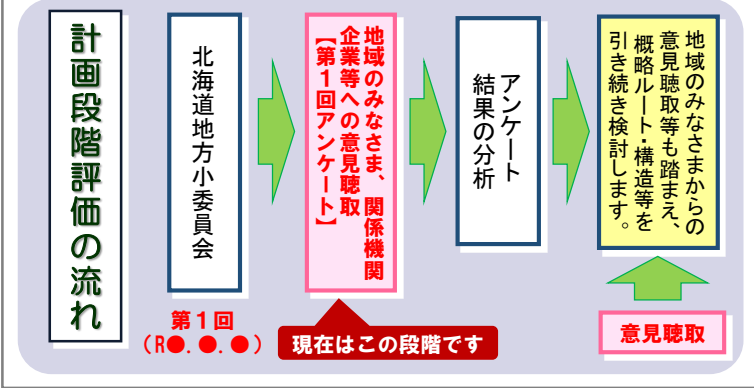
国道39号女満別空港～網走間についてご意見・ご要望がありましたらお書き下さい。

.....

■アンケートは「計画段階評価」審議の参考意見となります。

国土交通省では、道路事業の透明性・効率性を高めるため、計画段階評価の取組を導入しています。

これは、道路の整備方針を地域の声(地域の皆様、道路利用者、関係団体)を聞きながら、第三者委員会によって審議するものです。



アンケートについてのお問い合わせ先

<調査主体>

北海道開発局 網走開発建設部 道路計画課

北海道横断自動車道(網走線)女満別空港～網走間

道路計画に関する意見聴取係

〒093-8544 網走市新町2丁目6番1号

電話 0152-44-6510

国土交通省

安全で快適な地域づくりのために
みなさまのご意見をお待ちしております。

本調査は、オホーツク圏北網地域の道路計画について地域にお住まいの皆様や道路利用者のご意見を広くお聞きすることを目的とするものです。

そのため、回答用の郵便はがきに記入されたことは、この目的以外には使用いたしません。

回答いただいた個人に関する情報は、本人の同意なく第三者に開示・提供することはありません。(法令により開示を求められた場合を除きます)